月次三題句合

ヘ 5
1559

門刻
號 1539
卷

蟻洞菴有宜評月次三題句合柴上

天 五六四　花 廿　地 五六四 二ノ　松 守　人 六四四 六　松秀

蛙跳ノ部　　句坐到素忙

菜ノ花のさもてて咲やうきめる　郭公
むさ〳〵と雲ハ高くのつり給ふ　朝市やさ物をうえ　武大井　上川
垂之山のもう〳〵　朝市やさ物をうえ　上川
火桶出て産屋　仏加や沖ゝ寄す　上川
夏小ちゝ如伏見のめ　や不如海　サウ上
書写の眼ハ屋すめ〳〵ゝ　杜鵑、
たゝ〳〵も樂　むらやうきつゝ　ニヤ川
橋は高ノ　四巻市りゝ　袷　シロカヲ
ゝ流水めゝ　ふゝ流ゝ　無子花　奥モシカ
袷ゝ　ゝて　遅ゝ　自ノ雪
目さゝ　ゝ色の　明やうさ
子親ゝ　今刻　試　ゝ
嬉ゝ　と　ゝ
走ゝ　栗　ゝ

麻布　高橋　湖山　杜山　花女　白馬　佳友　駿吉　重自　阿石　琴黒　和風　叶　如坐

乙酉四月分

月花ふかと洩りのそほとときす
徒古き編笠や賣ゝ〻亭　二ノ　観山
掛てけすたちて山や夏ゝ〻　杜子　越子山　朝笑
ちてゝ山ゝ山ゝ山ゝ山ゝ山ゝ　一雲
編笠ゝ　雨ゝ　蔦ゝ　雨ゝ　白羽
耳ゝ　みゝ　時ゝ　ニノ
杜宇ゝ　雨ゝ　井坂　ヨウヤ　呉藍
耳　痒ゝ　雲ゝ　奥ノ戸　妙達尼
花ゝ　夕ゝ　郭ゝ　衣ゝ　栄之
ゝ　更ゝ　鳥翁
宿ゝ　白翠
膝ゝ　時ゝ　ニノ
楼ゝ　更ゝ　衣　西久保　稲秀
書事ゝ　真向ゝ　羽ノ上セウ　芦雪
別墅ゝ　朝ゝ　衣ゝ　井水
郭ゝ　月ゝ　西ノ木　三ノ　杭秀
川　月ゝ　朝ゝ　船守
朝ゝ　ニノ　ニノ　全
ゝ　連ゝ　衣ゝ　二ノ川　豊哉

郭公ゝ　ゝ　ゝ　

[illegible] 神谷 ウワエモン 朝潮
聊と時を解新[illegible]
[illegible] 人[illegible]せて時を
附紙[illegible]
[illegible]
[illegible]

軸

すくひなさき亭投出すや郭公　判者　有宜

三月分延来蛙跳の部

始らうも木うけ初て扨　柳圓

地中に活る蛙や桃ちる頃　枚鳥

蛙つら〳〵海とハ見えす湖て　仝

亭さひし〳〵　雨は湯山びかゝる　一枝

こゝもとに桃は咲系ふるを桃は栗　テ雨　橋

世なりもや桃の花　初ア女

何事さくも蛙の面よ飛て　琴夫

さと山や雨ちら〳〵中　テ

雲ら〳〵窓の家〳〵　湖月

五月分月次題　清水　蟬　接子　入花十六孔

右一題一句ゝ早く出句可待ゐい

同廿五日於催主庵宴巻

當日兼題　紫陽花　雲峰　各二句吐　入花十二孔

蟻洞庵即点夫地人景呈　延年斎　如滝

蟻洞庵有宜評月次三題句合朱上　乙酉五月分

天　五六品頃　琴風　地　仝白羽人　仝玉令

蛙跳の部　句坐到来頃

悼峠や人目はの出る桃　松守

悼峠ら〳〵ゆ小多空の雲居哉　イタ町　湖山

悼峠や笠立ての山の歌　奥モリ乃　桃之

苔さは葉のたえす鶯さ如苔清水　如北

なて〳〵こや西施ら石形の古石色咲　琴風

樹ふかゝき彦や朝ら〳〵せゝらぎ　ニ男子　阿石

解の下ばくり出る苔清水　ニ男子　狐穴

已ら〳〵蛙は清水ふ水こゝ色色　アカフ　三夕

半分雲ゆ山の雲色雲清水　モリ乃テ　和叶

筑波ら雲ら出る日や悼時雨　赤十

悼峠や雎乃おりき玲康山　阿黒

不絶〳〵と松葉ちら辺清水ふ　子紫

悼峠や松り名は河る風来寺　ミナ川　船守

日宮中や清水拳るも寄　芋芝夕町　其　撫
清水うつ清もの殖寄不二庵者、　井水
盆祭むさ三千坊や せうしの　
寄てしこや世中の俳日記　芭蕉堂　白牛
古仏弟の花こそ芝新清水の那　武大井　杜山
浮ふ藤うし　蟬　日さ清す山寺ガ　ミナ川　駿吉
住吉しし清水の内　寄代清うり　アサフ　白羽
何くふせし　雨寄うす　蟬ふ寄　テ
此末寄布もさうすを苔清水　西クホ　松秀
ひう寄ハ蟬ふもひ川むおりひ蝉り　ミフヤ　尚長
茅ふぬ寄清水の蟬うの山寺の山　アサフ　百和
松う枝ふひ清寄しし笠や苔清水　笠キツキ　雨翠
稗白　渡　苔清水　肥コ　夕風
接子　寄清水　豊ホ三ノ　松秀
石切の鑿ひやり谷清水　ミロカ子　星月
日ふ逸うあうく住吉や蟬の寄　越ミ子山　朝笑
居寄しし　時う一蟬　軽半め蟬、　蛙遊
蟬寄や寄清水　三
寄てしこふ寄寄てあ寄うさうが　仝

あて　こ寄り寄清寄寄清水　ヒラ　観水
夜ひうし　ふ寄清寄　砂　鴫
むすふ寄ふ寄ふ寄清寄ふ　リウ　仙
蓑清うる寄ふ迎りや緑　ウワシマ　一
蟬峠や木の下陰も地寄寄　ウ　笑
地むし　ハ寄　ふ　ハ　一
松風もとうふ　ふ　ハ　清　水
撥三峠やまり　ふ　ハ　清　ハ
ううひ寄うう清寄うう　ヒロノテ　紫　駒
あて　あや日ひる雨の跡　芝四マチ　富　暁
山寺や蟬の寄うく峰　ア　サフ　自
山寄ふ屋ひうし　ヨフヤ　雪
寄り影や清寄ふ　西クホ　龍　松
新影り　袖寄り　清寄ふ　寄　
清うう　押　命　新清寄う那　芦　洲
寄て　こや雨ふ　ふ　の　安　雄
ほのふ息清ふ　ふ　清　軽　我
山影ひむすひて寄や若　寄　晴　花
接子や寄て　寄雨寄　寄　現　若

白小なる木立ーて有る事塚の事　五ノ巻　雪

小松なと植えるも見て昔法師、　青雲雨

なて、おや雨かり事有る色のさま　悠く

塚墓ー名もこうらの泊瀬越え　三ノ

切縁法師代々まむ門の法師ども

方ども　こや屋ゝの法師ども　石の音てゝ

ゝ　ゝの法師ども　石切の業と奥山や　樵ゝ　静湖

粘られる順慶町や　塚は　輝　白馬

業苅の出逢ふ　岩法師ども　東曉

接ふ法師ども　ゝ　惜う郎　ゝ　挂花庵

嘯　歩く雨通ー　松は　蟬　亀友

法師や　塔ども　の白ひ　酔月

日宮中　郎　眺うて塚　時雨　家鶏雄

業郎　流す山路法師ども　和風

なて　こうゝと　と　塚　時雨　如風

塚　嘯や　思ふ　ーまは古郎ゝ　佐金

接子ゝ　千　法師　嘉ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　登鯉

塚の事て雨法師　と郎ゝ　ゝ

嘯ゝ嘯や山法師ども　嘯は音　三ノ　秀橋

接子や寺ども　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

法師ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　三ノ　柳枝

接子ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　三ノ　阿泉

寺て　ゝ　ゝ　月の　ゝ　ゝ　源氏窓　里雀

接子や　ゝ　ゝ　ゝ　朝の嘉　鶯頂

法師ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　鬼月

月は　法師　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　左柳

せて嘯　や　久日　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　三ノ

嘯　思ふ　ゝ　塚は　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　白馬

碑　た人の　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　玉令

塚　ゝ　ゝ　法師　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

埠や挽りて曳く山の蕃　アサカ　白羽
立ちき乗風に奥何系陰ゆる那　モリヨカ　梅旭
ゆて。こは雷ゆ喜日和う雑　アサフ　桂花庵
搭子や野分ゆ蝉の中小はき　越　文好
何ゆ水音寂や秋ゆて　アサフ　玉令

塵は世の浮き乗きゆ　吾法ゆ　催主　如滝
虹消ぶ弓代ゆて　袖　あは咲ぶゆ　判者　有宜
四月分逆来朱上
午以如ぶゆの夜雨や　和叶
去ぶゆうえ扇ゆ　見ゆ亀　松秀
五月十日兼題　蛍
盈は晴きれ乗ぶ　一黙
系柳ゆ六田の灯　新こは帯李　芦蛍

六月分三題　涼　夕涼　御扱　各一句て
同廿五日吾宅寄當日兼題　虫干　百日紅　各二句て
蟻洞庵即点三文系　延年齋

蟻洞菴有宜評月次湿墨三句合朱上　乙酉六月分

天　五六五　南　朝　地　五六四　八如　亭　人　六四四　住　三　夕

朝部は徒りに寄ほとゝぎす　房仁
かゝるための蒸発ゆて仕弓、　魚　守
里は子ゆあは方さゆの涼ゆ　呉　東
夏は雨夜ゆ月ゆこぼれ寄り、　駿　吉
蛍は弓ゆ影さく書き夏地ゆ那、　秀　雅
六月や埠りユゆも赤ゆす　喜　遊
ゆゆ元ゆゆゆゆ　羽　一葉　一　黙
瀬ゆゆゆゆゆゆ　奥戸　白　納
埠等や代四ゆ　廊北亭　仝
社迎　昊は杉　宮　桂
略つゆ雨ゆひゆゆ　タカハ　斗
よきゆの粉ゆ以ゆ　ヒヨセウ　芦
中は良や屋き注方　越ヨキ山　雪
　　午　勢
　　生、　鮭　遊
　　ゆ　ゆ　ゆ
　　ゆ　ゆ　ゆ
　　ゆ　ゆ　ゆ

秋上を秋も立田より猛う郭　一嘯
うち〳〵すさ飛ハ深山の住居　一寸
宗祇　涼風加ふる窓の秋風　奥八戸　白毛
白河　すゝ吹き寄る秋の夜　モリヲカ　琴風
ちり立一掃辺ゝ京秋ゝて　如斯
書うる硯に消ゝきりす　仝
うれしまして有る古京や　蟋蟀　三虎
編笠をよろこりて　蛾の池　和叶
吹る夜の寒ゝしの中　白カ子　拓宛
灯を灯の中ゝ　リウト　雪月
相一葉さひしさ寄ゝ　松守
帆車ゝ日和ゝ　芝山
月氣ゝ　亀渓
世に紫ゝ　アサフ　白羽
みとうゝ智恵の塔ゝ　シヤ町　其樵
木曽谷やゝ月棚を　窓暁
ちゝしさやゝ　イヤ町　親山
月ゝ雨に　英玉
月の出ゝ狭う　ちゝ臺

橋ゝ　桃子
ゆゝ影や清流ゝ　ヨヤ　冬甫
うゝ夜のまゝ小近　ヒロヨ　呉蓋
庵に　千や鶯とひの木笠　ヒ川　親水
苧子ゝ　小紙　如亭
ひゝに　仝
時雨や　三ノ
磐井　仝
世を　九ノ
ちゝ　離れ秋の塚　六ノ
日に　馬嗟　八ノ
秋近　山根　梅志
鶯鶯に　朝や　白牛
雨に　文雅
白羽
尚長
白子　三ノ
紅亭
可久

試み故屋しき秋や広野の夢　シロウ　静湖
朝風や清くさ茂る野の秋　リイト　湖宜
五鬼村の白き秋の花たき　一弋
薄まく白きやうなる秋の空　仝
川辺の野　五り迄迎秋の郎　文志
深草里子うつゝ　ゆゝへう雑　羽十山　義倉
そゝ内の秋色ふかし　て秋の空　タヤ　折園
暑日や　小さいの中小一瓶入　ヒロヲ　芦水
ゆゝ泉や　まい暑さ　秋日金り　裏月
そゝ　そゝや　本紙写深灯の川向　アサフ　弘明屈
涼　さや自ら　押出す　峰より　玄　長呂　亀友
夕　新　れ　秋の月　亀六
秋　吹や　秋業のむ　ら機　ニ　亀友
野の戸や　暑　秋の散　チキレ　登軽
ひ　や　暑　荷ふる　玲庵　銭　四ノホ　宜月
夜　暑　ふ　ら　ふ　や　花　スカモ　哥園
暑外の日　先　秋　アサフ　百和
秋の月や　自　ほ　の　色　仝
松一木田中ふ　ふ　ら　南朝

そゝ　秋　小　松　白　小　秋　白　月の　門の田小　草　物　月の　白　秋　秋　隣　掛　暑　そゝ　菊　掛　秋　蓮　そゝ　小　秋　月の　門の田小　草　物　月の　白　秋　秋　隣　掛　暑　そゝ　菊　掛　秋　蓮

秋　せ　や　扇　力　を　朝　よ　を　ひ　き　秋　せ　や　扇　力　を　朝　よ　を　ひ　き

秋　や　秋　と　か　り　は　秋　よ　る　れ　、　秋　や　秋　と　か　り　は　秋　よ　る　れ　、

秋　や　玉　は　ら　ま　る　新　潟　ア　ヲフ　秀　橋　秋　や　玉　は　ら　ま　る　新　潟　ア　ヲフ　秀　橋

暑　ひ　く　ま　見　く　南　田　川　、　抑　枝　暑　ひ　く　ま　見　く　南　田　川　、　抑　枝

き　き　き　き　や　苔　迄　く　新　仲　　筆　奥白カハ　露　暁　き　き　き　き　や　苔　迄　く　新　仲　　筆　奥白カハ　露　暁

菊　咲　や　垣　よ　外　市　く　の　青　　常ウヒノ　好　静　菊　咲　や　垣　よ　外　市　く　の　青　　常ウヒノ　好　静

掛　の　す　き　さ　の　曙　や　菊　よ　く　神　　尚　長　掛　の　す　き　さ　の　曙　や　菊　よ　く　神　　尚　長

秋　よ　涼　不　と　市　の　舘　り　眠　り　り　　一　黙　秋　よ　涼　不　と　市　の　舘　り　眠　り　り　　一　黙

秋　や　玉　よ　ら　田　面　り　と　月　の　照　　親　水　秋　や　玉　よ　ら　田　面　り　と　月　の　照　　親　水

蓮　よ　菜　や　ほ　ら　の　森　の　き　さ　所　　如　栄　蓮　よ　菜　や　ほ　ら　の　森　の　き　さ　所　　如　栄

[illegible]

七夕や[illegible]の夏

[illegible]

夕[illegible]や[illegible]の坂[illegible]の[illegible]

[illegible]朝や[illegible]石

[illegible]の[illegible]

芦雪　松峯　三夕　如亭　南朝　松秀

見[illegible]やさん　松[illegible]ひと木り秋の立　催主　如瀧

[illegible]　仝　是来

[illegible]

軸

[illegible]

[illegible]　判者　有宜

蟻洞菴有宜評月次混題三句合朱上　酉七月分

天　六六五　尚長　地　五六四　[illegible]安　人　六五四　[illegible]洗耳

蛙跳ノ部　句坐到来順

[illegible]　奥モリカ　阿石

[illegible]　桃之　阿松

[illegible]　白羽

[illegible]　仝　二

[illegible]　イヲ町　潮山

[illegible]　仝　錦林齋

[illegible]　ヒロヲ　森高

[illegible]　仝　尚長

[illegible]　松寺

墨の雲や芳よしてて霞硯 一瓢
埼や森肌て一一みる松乃雪 臭モリヲカ 三虎
厂峠や芦ふた萩の咲のさかる音、 和叶 二ノ
入ふるよ鶏よ秋明や七年酒 千峯 二ノ
義稲く雲て雲て壁屋の那、 梅旭
ものし厂やくすむ雨の先、 狐穴 三ノ
稲法やて一夜古草たる小田が 三カ子
笛て なる体切る朝や霧時雨 三ノ
風ちよよ雲て花咲迷葉の那 泉月 三ノ
粥服て表雲ふ森雲なる ウヒマ 静雨
盆三日仏ふ雲一ヤ帝王 朝潮
雲雲明帝り雲の千松魚 三ノ町 井水
白砂よたる虹紅梅や藁の花 其蕉 二ノ
角力元名のこ持ちく老ふり 窓暁
木年て石も蕊むち蕎ち、 仝
秋よ雨鶏を稲樋て ひとを乃 川ヨ 栗洲
袖捲く雲ち見を埋の乃朝 晩翠
何見見を埋の乃朝 法楽、
萩よ葉ふ稲く秋とち ふ乃 三路

秋よをひ雲や雲たの法 紫駿
胡ふ不や捲を雲く秋よ雲 右琴
とり一丈のこえ雲し樓 秀橋
松の雲とは雲く何帝見よ川、 柳枝
穂雲雲ふ風ふ日雲ち帝り 雨町 咀雪
梵を一の松明捨て ち苗や法 二ノ
有丈の智恵炉て雲 里楓
胡部を雲よ雲ち蓮の花 川 安
ち丈梵ち法里ち隅や虫の雲 四ノ
稲つ雲よひろ乃湖ち上、 如亭 二ノ
叶の戸や雲の雲も法ち硯墨 四ノ
世炉捨く雲せと墨ち立名炉 六ノ
秋風や沙ち法ち叶の履 七ノ
栄雲く秋よ金法び法ち帝ち 駿吉 二ノ
さちや秋の雲帝く法江堂、 紫蕙 仝
我ちち年よるものの名秋よ雲 イタ町 観山
稲雲雲や松よち法ち帆の雲ち
法ちち日の入石の雲ち山法ち那
稲つ雲や入石の雲ち山雲ち那

又平も見るあるべしや きりの石
立ちたる山々野辺の秋乃 肥ニハラ
耳ふさぐ目のうさん秋の流の那 羽上山 三枝
肌寒や袂おとろす鐘の音 西ノホ 花合
しるべや戸やあらぬ明てもそれ世の音 武蔵ノ国ハ 軽我
曽揚く歳とくふるやちり柳 紫駱
厂峠て雨来たれば演辺う那 ニテ 尚長
花ちりも涼きあめや我の山越えて 梅兄
音よりかつぶ隣打ち寄りの音、 ニテ 三狐
雨よりも峠ふきてふ寄りて 蛙遊
多入せぬ峠ふ業行り 朝笑
打よきすくの粉みそ昆瓢の那 午勢
風くくの花、 ニテ
推ひろ新すさるや顧髪 ニテ 麥風
雪降峠の之ゑ春よ明る 白彩
略峠や改陀ふ寄す栗の仮 杜兆
峠の基剣伯倫もしたたる 稲秀
嘉通りさ好さ屋ゑ月の入 ニ月子 重月
峠やふ而ちき峠乃雪 全

志ゑ雲よ中ひ沈寄りゑ坂 ソラト 觀月
ゑ寄ふ神の被や春宮よ社住 亀友
社よ塚ゑ寄す花れ 全
たまゑ寄り名代四人や男屋 芝山
厂峠や好ゑ寄ゑたる春乃ゑ、 今橋
日のいゑ岩根よ寄ゑ、 テ 松守
猿ゑきや寄ゑ世春風ふ寄る ニ月 梅志
雨よ春ひ人て雪せん芳の宿 全
尾の志好さゑよ通ゑ花すき 巣ノカ 白
有や春やの実て寄ゑ社雲 ヒロヲ 素白
朝ゑ峠や春の乾ゑ知ゑ寄ゑ 羽ニ在 芦雪
鈴東よ登ゑけて行ゑ春乃木戸、 洗耳
厂峠や汁のゑ峠ゑ寄ゑ、 ニテ 思月
義峡や田ゑよ通ゑ坂乃外 肥ニハラ 九
義小自ゑ寄ゑ戸ゑ知世寺外、 湖月
首塚ゑ世峠の中ゑ寄の辺、 西ノホ 松秀
塚ひゑ寄峠義ゑ寄行ゑ峠辺の社 ニテ
芳る世よ乃つゑ寄せん世市花
大津絵乃乾ゑ知上や社ゑ塚、 紫英

勅願の文字てりそめや夕紅葉 西多摩ニ鯉 昇
紅葉ちらしよりうりと呼ぶ 仝 宜月
更ふかと角兵衛さき 鹿の鳴 和秦
て行寺 頃り 鎧をむ 世義ノ郷
退屋よあくひ 男えの 明子小泉 圓笑
庫ちや世界 於ぶる市ちり 八雲
面と 峠やた紅の ちり す 波月
ちり 乃又 回ひ 物の 月彦
總相やう ちの 物の 布村
稲妻や戸ロ ひ 仲の 京 佐谷
夕京和 松のう 紅葉る 丁乃丁 サクハン 芭蕉堂 白牛
稲ひ ひる 世面や 仲の 雨 秀雅
丁ちる 京 京 ひ 雨 仝
京相撲の 京 京 奥八戸 妙達尼
京 の心 京 ほ 中 雨月女
耶 京 ひ 夕 紅葉 紫之
ちり 京 ほ 日 毎 行 ひ 夕 紅葉 二丁
藤 京 京 行 ほ 解 行 蕎 乃 雨 複雨
ちり 京 行 名 口 出す 仲の 花 百年

縄張 通 紅 義 ほ 徒 ノ郷 登 鯉
む の ほ ほ 迄 ち 角田川 里 童
ほ 小 菜 義 する ほ や 蔦 ほ れ 里 朝
武 ち 地の 月 小 枝 明 ち 猫 ち 京 二丁
大 京 ほ ち 京 ち ち 京 ほ 雲 廣 山
今 海 京 と 八 京 京 海 ち 京 百 和
京 市の 霧 き ち 雲の 時 小 市 二丁
て 流す 蕨の 綸 小 京 ち 秋 ほ 虫 小川町 狐 蕨
松 風 ち く も ち 京 京 市 の 鈴 ミツ五 三 蝶
一 雨 ち 寺 も 静 寺 ち 蕨 ほ れ 西ノ宋 金 我
ち 川 厂 や 京 ち 寺 ほ た る 二日 月 言 屑
時 殘 る 星 ほ 夫 ち や 百 ち ほ 彩 白 舟
厂 峠 や 京 角 森 ち る 蔦 拂 芦 洲
起 て 行 ち れ ち れ ち 京 京 咲 アカサカ 陽 賀
夕 月 や 京 翔 ほ 小 京 京 京 の 中 ヨツヤ 冬 甫
ち 西 ほ 中 ち 酔 乾 ほ 蕨 ち れ 、 錦 舎
部 安 ち 藤 や す 虫 の 蕨 も す ち ハ ノ町 桃 子
嶺 ち す 市 ち 虫 の 蕨 、 ふ 京 市 ち 虫 の 蕨 、 英 玉
ち の 蕨 り 沈 ち ち ち 仲 の 月 ヨツヤ 呉 藍

投らうちの花行ふ南力うれ　イフシ　子負
中く秋はいとうち火白う夜明るり　松守
雲る秋うち孫うさ月又う邪　ニワヤ　藁斎
名月は中一りと秋や八俵の牛　シハ　蔦賀
木食の脇こ一帝う秋は風、　テ
義咲や押こ帝て中く巫の神、　テ　往
爰ちと戸ばちく紅小豆や庵の彩　三ノ
枝川ばちくさ月けりか舟うれ　四ノ　晴風
川豆のよく乾ちく帝う秋は埒、　松石
伯引の笠ちう寿ち秋の妹、　麋窓
女人笠ちて兵庫行う秋はよう弊　仝
雨乳は中の日和や秋乃てはは、　誘載
さひしちを秋貴ありわ竜盆の市、
糸ばとる寿や秋帝は中ちう元　テ
行ちといふちうの井戸や仲の花、　テ　格子
更りや夏れの寿り秋の彩、
蕣や今ゆく朔乃ちれちう、　吳月
子逆り蘇栄つむ舟や虫の彩、　川溪
稲ちくきや兵ちも名の行う川乃未寺、　樂水
對斎

結ばちのひろうく戻る一葉ば　シハ　枝　揉
稲州の松はまてみはちくれう　テ
秋ちやちは名ちさ恋和小蕪み　塙、　白　石

秀逸六部ノ部

朝良やきのふ兵庫とうのり川　ヒロヲ　一　黥
秋ちう山は小余う帝う花ちく、　テ　芦　水
坂ひと帝二帝ば秋のちう邪、　テ　裏　月
山萩の彩ば小ちく秋のちやく彩は　シチ川　四　如　亭
山ちくも世ばみてを秋はみ、ちば、　四　ちば　安
朝うやや表半の嵐兵ちく女　ちく　女
接たひ小秋は蘇帝り日枝乃ちう　ヒロヲ　紫　蕙
秋の妹寿みもき中る風ばう邪　ミワヤ　尚　長
蘇は寿や発り　仝
きのよう兵似ちく似ちう秋は帝　掛ちる蹉跎　アサフ　洗　耳
風習は木ちう兵ちる秋ちう邪　奥八戸　寛　眉
俗ちば出ちく送ちう妃羽一葉　小石川　烏　嗣
見一寿はおもう帝　殘を花芙蓉　鬼　月
觀　水

雨伏出る雲の末を　移れうを　催主　如瀧
落つる山の　岑を吹まり　柔立　是秉
夕山の　江の　軸
うみ　寄り　帰る　風　　判者　有宜

星霜庵畔鳥評月次句合

酉戌月分

天　○郭公　なきわたる　ちとつとまりの
　　永六年一四、一　　白風

地　○　なもあ　なきつる　小鳥　ま　クルメ　ようれ

人　○　岩躑躅の　穂　ふ　笠　杜の　雪　ハナ
　　ひ　ひ　さと　ゑ　ゆ　ま　る　仏　手　象の　象　白徐
　　永元五、一
　　岩中一ニの　ツ

何ゝも　安一　赤　程の　垣ひ　ま　モリヲカ　如彩
うゝ　ゝ　ゝ　の　ゝ　ふ　の　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]

○[illegible]の萩[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蟻洞菴有宜評月次温題句合朱上　酉八月分

天　五五六　其撫　地　六五四　紫騮人　五四六　冬　甫

蛙跳ノ部

句坐到来ノ

秋のやまゐるたひふりのそろけり　アサフ　白羽
義ふけも秋やとゝくくすりこち　モリヲカ　テ
ちり柳　松ハしつゝ　テ
卅の戸の木角ハふり　新所花　竹
素いかのまゝも掛を逆をいる　窓
しゝ素のまてゝをさをやいるの芝　仏
卅の戸のタくをきやき灯ろう市　アサフ　三
此ろの月ゝ　まれいろ紫苑う邦　生
義ろ　小日のろ　卅　和泉　モリヲカ　桃
七夕や風のまゝ　ぬきりのく　峰
俗里ゝ　お俗もまゝ　の　白カ子　玄
立扇を　ゝ　ゝ　ヒラ　之
蔵し　ゝ　ゝ　ヲフ　志
風　ゝ　ゝ　ヒラ　穴
朝やの秋　めろ　中の中　高
あさゝ　やゝき世の蔵　川　夕
ゝ　ゝ　ゝろすまを海のおと　ヲ川　亭

番のあくふくみすもすん梅りとき　ヒロワ羽上山　一　鶴合
さの川さいむさ[illegible]　花三
あいとさ[illegible]時さくさりしふ枝长外　友　栗　花
[illegible]　武川ヲ　林　湖
ころもうん　宿や木の石の月ひり　イ、タ町　斎　月
目ふさたるものうこ[illegible]や秋のくもけり　　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中ぬの世のうゝこゝハ見えす　菖のたれ　子キシ
麻ゆゝやとけてもふゝぬ妙義山　ヒロラ
たゝり戸の新ゝかの新かのうちう　二日月　白カ子　釜
木のかゝる明のさひしや　時　新　アサフ　好
若葉やそ絞ひゝなるむら　横　白カ子　雅
藤明りの窓　ゝもさすや　稲の新　ウウレマ　白
殺生ゝ　殺生の　ゝ　ハ戸　胡
花ゝゝかゝりて　ゝす宿や　雨　羽二庄　亞
時　もせす　木をめゝ　ゝ　ヒロラ　月
竹の葉の　ゝ　ゝ　ニ　湖
名月やこゝろの　ゝ　ゝ　如　芦
ゝゝ　ゝ　ゝ　芝町　今　白
さゝ　ゝ　ゝ　アサフ　井　錦
雲　ゝ　ゝ　武大井　徳　雪
雲　ゝ　ゝ　壮　水　榮
名月やふけ井の浦を夜の　橋　三ノ　尚　三ノ
名月の牧や　稲の上　多ナハ　魯　長　舟　雅　友　月　六
月　幅　新　長ス　ニノ　紫　白　蕙
月　ゝ　ゝ　ゝ　亀　碎　亀　山　ゝ　ゝ　松　今　松
ゝ　ゝ　ゝ　

新米や砥石流さるゝ小京　リウト　玉川　綿浦
蘇ぬるのゝきぬ汚ふえくゝの月　駿吉
さめ〳〵と髪おろす夜やゝうの秀　袁風
世のうきさ軍ゝハ有　虫の声　ハア　白
ゝゝゝゝ花夕日ゝ小行尾花ゝ　羽ニ左　三
粥ゝゝさゝゝ小笠ゝゝ引板の音　キヨフニ　鶴枝川

ひき舟や屋ゝさ　催主
散こむゝ　是未
産ゝ生る神ゝ　如瀧
いゝゝさん秋の山

柚

稲つゝゝ住ゝ　判者
ふゝゝり山の麓　有宜

蟻洞菴有宜評月次句合朱上

天六六五・藤谷　地六四五　梅志　人五、、新幸　　酉九月分

蛙跳ノ部

句座到未須

温泉の湯ゝ掃さやう寄ゝ社の月　武代公　晋　孚
厂ゝゝ寄附ふさぬ竹や待の秀　仝　三ノ
川芋の雨よもにふ山ゝ跡暑れ　四ノ
宮治ゝゝはまゝ明きゝ　挂　二ノ
雨を寄ゝ秀八吾知ゝ秋の　雅
巡足ゝ見れゝ出す柚みそれ
ゝゝ思ゝ人と詠めり邪芙蓉　西ノホ　三ノ　穆
川隈ゝ月ハゝすゝて寄ゝ河麻　アサフ　白
栗炊ゝ小蛙ゝ小京や朔ゝ良　紫　彩
西陵の山足ゝいさむや彩河永　二ノ　瑞
秋風ゝ京ゝ接ゝ京都ゝ髪　一　桃
松ゝ浮ゝ　ゝ月　奥モリ乃　阿
竹籠ゝ夕日ゝ不ゝ　アサフ　楼
それゝゝの木ふゝ拭ゝ月の松　之
ゝゝやめゝゝ梅さゝ八幡　松
ゝ　砧　ゝ　仝　紫　苑

むしの鐘ひさの浄土　峠いと　アサフ　白
り秋やさそれいきる仲のつる　羽
しく業や松ゆうくるる時の雲　四ツヤ　東　羅
月山ゆきと退くうつ巻きき　冬　南
をの和ゆたくを伏ゆり　洩る月　房サマ　亀　三ノ藤　守
さ面く小風の石やあり秋の仲　谷
けふの月松ゆさ山とえくれ寺　吳
り灯とてきといかりのきりす　三ノ　東
言い木をりていかく寺独分の夜　シヲヤ　尚　長
秋の蝶垣根ひとゆと思ひ時う那　アサカ　蛙　遊
夏むし反ゆくゆくある筵ゆくいる芙蓉うれ　牛コミ　馬　十
釣くある筵ゆくいる芙蓉うれ　山岩川　鬼　月
稲多村の元元くいる芒のきりうれ　全
さる橋の雨おやとゆ　時の麻　羽ヒミ庄　芦
蛙す稲ゆ　ゆきくるや統波山　シヲヤ　黒　雪
ア雪や石の宝敬元くゆさ日　本ヒロ　柳　多
しくるや松の石のしも琴の青も　ヒロ　源　枝
仲石の川死ゆ時千多う那　麻　賀
秋の蓋ゆゆ留ゆくいきゆ枝尾蓋　高
蛙ゆくくゆの系枝尾蓋　田マチ　仙　歩
夜ゆくくの松風蛙やくくれ　全
り秋や蛙　ゆ　蛙の髄　ゆ
ゆり魚ての芋りくくむ伝　其　蕉

夕松ハ暖ゆゆ　ゆ川　船　守
あるゆ雪ゆ風ゆもゆひく尾蓋ゆ那　タマチ　弁　多
紅たくゆ煙ゆ元ゆゆ伝風　ヲキヒ　登　鯉
日の窪ゆゆ元ゆ椿せん蓋葉撥　イ海　綿　斎
風の蔦葉の魚ゆゆりゆ　ゆさゆ　錦　賀
葉裏他境遅来ノ部
杉くくくく

宋ふかし夕日こたへて小蕗の花　ヲヲノヲ
冬の月ほのぼのと門ばたをきけり　仏生
格堂の紙の窓あり山路の郎　我童
いりもみ鳴るかしこまるかりの盆　山暁
ようをていりすぎ信もあり　書の海　躍盛
菜の葉や朝日ちらつく猫の耳　アサフ　花峰
松の葉に窓あり入りふるふ風　白カ子　松
穂もくさや碑の苔ゑる風の石　アサフ　狐
桜伐る月のひかりとなりふりけり　三ノ
秋の懐寒えそをきる独へ戻りけり　全
むくさの紙もも紙の寒う郎　全
冬迎さいもや木のふり仲の癒　彩
刈稲の葉ふるけりけり　白
不ぐさや隣日の外ハまんの風　テ川
蕎ぐさ丹波に入る日暮ぐさう　テ
しし雲の中をへさてて石葉外　アサフ
撰京軒灯心神の宿　繁更
蕎の法中寒ふ押さぐ亀　自
山寺の夕暮ふるさ石葉ふ郎　夢
薄戸や蕎の光ふる秋の月　ミヤ
手洗して成るふ　抱
縮つるや伝さう寒　三ノ
五位峠ぐ月の谷の切　テ川　知

探　生　童　暁　我　山　盛　峰　松　狐　穴　幸　羽　和　守　求　長　蹴　栄　扇　吉　亭

老木ふる山の入日や九月　ウウ
秋さびし海へひろがる川　アサフ
ふる郎黄も老ふ結ひ霜のしら　自
秋霧や弘法ふるこはぬ淺　ラウレマ
由良の戸ふ波の音ふ夜や荘の彩　白カ子
仲蕎やるの音さる村も川老　西ノホ
かけ稲のよくくるく日や赤蜻蛉　ヒロヨ
老ゝ多ふ漁の母祇ちる尾蕎　ウウレマ
清見潟松ふふえくこゝり　秋
りきとふ小夜の時分　三ノ
夜の戸も寒の東さや蕎の蕎　西ノホ
寒ま寒ふ吟えく待　西の麻
秋風の上やしてゆさぬふの音　サメウ
蜻ふる鳥や蕎のふゝさ行き　芭蕉坐
誘ふて波凄ふ　テ川
雨の夜や扶桑ぬ　秀
老仲の日向を寒ふや秋の蜻　文
吟夜ふ蛙ふ　白
月ちゝ伝ふさまちゝ　尚
仲そふ　麻
蜻蛉の上ちゝ日ひ沖ふ秋の海　松
蜻蛉の上ちゝ日ひ沖ふ秋の梅　テ
ふふ夕日ふのめく時雨ふ　撥
リウト　ミテ　ミテ

安　求　朝　月　舟　一　技　寸　浸　赤　洲　牛　志　雅　雅　雅　長　高　寺　月　友

[illegible]

見るものの心うつりぬる秋の橋　栗　芝峰

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちらさき芽子の　ちるや雲の上日　武蔵多摩　壽石

秋のきりや　ちらさく伊勢の　東籠

ちらく入く　撞木や　ちらん秋の　尚長

人住ぬ　ちらく　紅の　如亂

軸

冬ぬ　山茶花咲て　李　判者　有宜

月次両評漏題三句合

雪中菴評

天　十五点　狼　齋地　南住　柏道人　南九　其得　酉九月分　催主　松秀

秀逸

白ハ樹ハ入く　鹿ち　峠く　郭

母　親ハ酒ハ　すく　もる　夜さ　か

高く　さく　雪や　近く　と丁の　秀

ほのぐく　鞠ちの　枝や　雪く　色

六点

魚稻ハ　すき　ちく　西日ハ　ム口

雲ハ　すく　きく　ちく小　ちて　ひく　鬼月

蟻洞菴評

天　十五点位　鳳凰　撥　地　仝　新幸人　仝　弁砂

秀逸

川ハ[illegible]日の蓼さゝす秋山雨　里雪
東雲の毛ゐ根ハ寒し　九月尽　彩章
ゆゝ蓼の赤ゐ実あるゝ　二ヶ弁砂
松風ハ行ゆ[illegible]を学出す夜寒う那　矢橋
そしゝ咲く小蝋　小入日う那　颯く
蝉の尾灯を見る雨戸歌う那　鬼月
蓼の戸や蓼ハ別條　茅ちき　二石

七夕

七夕の蓼ハ多く白蓼と和りひゝ
ゝゝ市ゝ蓼も多ゝゝや秋の蓼　催主　松秀
軸
日の山ハゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　刹者　対山
秋ハ日和　ゝ　ゝ　ゝ

天 [illegible] 人 [illegible] 人 [illegible]

蟻洞菴有宜評月次句合朱上　酉十月分

天 五六四六 一 鼎 地 五四六 花友女 人 五、八 昇峰

蛙跳ノ部

句並到来順

[illegible]を田子一押出す蕨哉　アサフ 鈴川
鞍つゝ小夕紫の沼る山路哉　ヒロヲ ニ 麻高
星のふる夜とゝ[illegible]里ゝ峠哉　モリヲカ 梅旭
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

枯芦や俄雨小ぶる月の河　サ名田　仲採
こぼれ垢離や雨戸を漕る月の河　ヒロヲ　三ノ東　羅
大橋やしら波山　アキ　女
時雨るや笠よりこぼる小蓑の忌　アサフ　白
しぐれ雲や松はめくたき男ふり　ウラシマ　彩
祝ひとり子ひとり佛蕎麦撥　仝　東
青梅毎日風を炎るや汐干菜　ヒロヲ　女
以如日の雲除さひし枯尾花　キク
完料び老の見よりも小ぶり　雅
おくしや蓍てもの白き海の上　ヒロヲ　蕉
以蔦を杉の枯枝や神の留守　ヒロヲ　蕉
月氣はあふ小祠りく片しく毛　ヒロヲ　蕉
山里や夕日うきこむ蕎麦　仝　素
ふく次梦夜の静者や網代小家　仝　素
鴨の寄ふもちるく紅の月夜　ヒロヲ　杜
ムちく小もちるく紅の行くくこと　ヒロヲ　杜
暮れの世を形ちるく紅石の郭　ヒロヲ　尚
雪の朝きのふ山ふちるく紅葉　ヒロヲ　尚
雪中や屋ちゆ山ふちるく紅葉　ヒロヲ　尚
幾重と行の つきし枯芦　ヒロヲ　丘
ちちくも却くあけつ雪のくと　ヒロヲ　長
木々の枯ふ動りて山乃月　ヒロヲ　長
夕屋けのくもも山つる時雨か　ヒロヲ　長
行月の枯北くみるしくもくれ　ヒロヲ　長
蒸紫してくくくくくくくくく　ヒロヲ　長
雪の日や石を寄さ山もひと風信　ヒロヲ　長
雲を山も静かさ雪の夜明れ　ヒロヲ　長
貢よもちくてくくくくくくくく　ヒロヲ　長
海面さ赤のくまへや冬の猫　ヒロヲ　長
乳風やこの日月　小石川　一
猫引のくく枯芦の郭　牛込　馬
石ふもの若くみるくの若の柔　ヨロヲ　呂
山ふ夜やおのもとくる猫の籠　ヨロヲ　呂
縁を碎ふふふふ枝を行くくく　肥ヒヲ　蓮
ちちくく吳枝を行くくくく　ヒロヲ　芦
禅寺の深茶藜　ヒロヲ　山
神の田ふ雀の若山小ぶる　ヒロヲ　子
大不ふる藜の若の若山小ぶる　ヒロヲ　夫
枝の葉をりくくくくくくくく　ヒロヲ　子
むくくくくくくくくくくくく　ヒロヲ　子
冬の蠅杉子くくくくくくくく　ヒロヲ　子
きくくくくくくくくくくくく　ヒロヲ　子
敦風の白くくくくくくくくく　ヒロヲ　子
いそちや沒されて松小ぶくくく　ヒロヲ　子
武蔵　仝　ヒロヲ　子　ヒロヲ　子　ヒロヲ　子

宮月や行ふ人ハ三笠山　肥ニマハラ
たゝらと落るのこる雪　里
山茶花や羽をひ立たる鶴の寒　魚
鴨なくや明すする月の磯　陸
まつ嵐の音ふ別れうみそさゝみ　鳳凰楼
波かちるふもとの竹　陽
雲風や夕ゆ千とるやうふ淡路嶋　小枝子
遠山の一ツ見えそめて松を分　リウト
山陰の雨ふり角行る冬木立　桔梗
たゝり雲や夜ふ角行る鷹のたゝ鈴　アカサカテ
遠山ひ白眼ちらつゝみる鷹の羽葉か　ヒヲ
梓さ一てつゝみて雪の霰　松
桔梗のひまつゝと言　月
蟲陰の山ふ凄　如
ゆふ業ひ常や衝の子松　武川玉
吹ふ嵐や樹火ハきえ窓の月　栗
たり雨やり月の稀き孫鳶　ウワヒマ
枯もせ一雨ふ行るふ葉の花　一
ふせんやもさふ行るすふ　西子ホ
埋火ふ行あ一むる雨雨の　百
落葉籠名古屋の夕日ひ行り　リウト
風の音も落葉の音ゝ山路の邪　我月
理見る人ハ一輪の友　求
秀　全

橋　北　洲す

柳　成　静　素　麦　水　得　多　女　其　里　三ノ　山ノ
枝　潮　遊　山　鮭　水　紫　多　女　得　四ノ　七ノ　昇ノ
蓋　タカ田　ウワヒマ　子キシ　アサフ　子キシ　ヒヲ　子キシ　シフヲカ
海原や雲ふ仏さ日を鷹の高か
谷の紙のひ一きり波の山
ふ雲ふ世ハ一ら波のうき藤
何の寒ハ世ハ一ふ通ハ蛇宮金仏
朱ひきの眠け仏す小ふ
翌ゝ一ぬくのむつ
樹ゝ一の鼾
掛紙のひ一ゝと言
日宮中や白帆の
手ゝ立ゝさ
きの一ふ岩ゝ松葉の
一紙の上ゝ
枝や不一蓋一ふ
雲和の見事ゝ
もちふ一きくふ
ゝ灰を拾ゝ
ホ一ゝ一の音毛さ
鴨ゝや入江の芦
おり一ゝふ蓋を
枯ゝ一まて風ふ
大津絵の姿ひ見
雪の角田花の何
炉ひ一きや雨の芦

全　全　全　全　二ノ　三ノ

暁

又灰ゐ成るちりうをうを炭
さそふ風をうくて林しき藤葉ゐ　長及　四ノ山　曉
一手俤見をうくそうちの藤葉ゐ　羽上山　亀友　醉自
星ゐうをうをすやうをうちの藤葉ゐ　芦雪　三里　悠二
枯蓮こうを見あるを見るを樽ゐ郎　師走　枝曉
梅かうくをあるうをうを師走　アサフ　ク
けさ秋ゐ松四ふくやうをうを巴むしうを巴ゐ　小川町　抱二　崔
猶の気へふうを木立山ちれゐ　アサフ　文助　文
山茶花やゐふうをうをうをの行きの日の暮り
禁垣のしをうをふを消す蔭ゐ郎
ちゐうを花やゐ門一屋ゐ妹木の君乃日
陽中ゐうを巴ゐ海の青
花をうを実れうを枯しゐ外ゐれ
木ゐうをうを市蔭をうをる里　男　四ノ木　三ノ　四ノ　六ノ　全　白　芝　全　龍　千　柳　伯
裏源しうを市蔭ふを夜寒の付盛の宛
ちれ雪の松ゐ朝て晴ふうを
鹿犬の峠蔭ゐ白ゐ　アフ山　宮ヒ　伏ゐ
雨りをの茂葉小屋ゐ伏ゐ
ゐ仙や掃屋ゐ
陰上ゐふゐうをうを雪ゐ弁
鮫汁ふ巨燒ゐ
手のひゐよを来空やちれ

きりけやうをうを秋の青　下ヤ　棋　鳩
油をとかゐ如りのうを待の屋と　羽上山　一　峰
しゐうをや隙さうをき為き証　全
秋季逆来ノ部
海の青ゐ夜えゐ村のきゐうれ　南山　法　眼
見すゐてくふゐ菌ゐ郎　ヨウヤ　呉　二ノ
ひやゐと体月ゐ影や后の月　想チサハ　蛾　藍
ちき木ハ行るゐうひちゐ秋の風　全　丈
蓄行ゐうをうを小宗ゐれ
秀逸六印ノ部
うをひすの俳ゐ　琴　風
月ゐ外やかゐを至ゐ　一　瓢
川青の木枯を冬ゐのひの木　笙　松　秀
玄冬ゐ行ゐ通ゐ冬ゐる時雨ゐれ　花友女
十月やゐ紅ゐたゐ幸さの市き　百　和
雪の日やひそゐうを松の夢　亜日和　呉　藍

武陽のまゆみ

耳ふたゝ[illegible]や　[illegible]

ひとむすび風[illegible]　[illegible]

海山を[illegible]　[illegible]

川[illegible]　[illegible]

十月やすこ[illegible]　[illegible]

夕[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

松りのこ[illegible]　[illegible]

萩[illegible]風は　[illegible]

[illegible]二木[illegible]　　至月

[illegible]　　松守

[illegible]　　雪月

[illegible]　　其得

[illegible]　　里朝

[illegible]　　三枝

[illegible]　　里暁

[illegible]　　助文

[illegible]　　催主　如瀧

[illegible]　　判者　有宜

尺尺齋寥翁評月次句合酉十月分

天

有明の[illegible]月ふ[illegible]　枯ゆふき　東都　峨陸

麦なとの世話さ[illegible]止めて十[illegible]ふ

七香車一百

地位

六[illegible]いふ森[illegible]と　猪の安、　亀月

須[illegible]よ森て[illegible]の[illegible]

西点全

人

その月[illegible]松殻の[illegible]枯[illegible]ふ

風形[illegible]枯て[illegible]江の[illegible]、　阿曉

[illegible]ふ雪[illegible]

五鳳之部

[illegible]の[illegible]　地は松の中　朱魚

松[illegible]　秋の[illegible]　全

山[illegible]　[illegible]　風一

[illegible]の枝[illegible]　[illegible]　[illegible]

六[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]仙[illegible]　[illegible]　[illegible]

大根引人[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]田の[illegible]　[illegible]　[illegible]

桂夢
仝
張山
柳巴
仝
柳枝
仝
岡山
学松
可五人
楚川
一宮
諸雪
仝
雨虹
仝
集蝶
荘蝶
孤帆
瓦彩
柳枝
女
文車

いかなる本の系よりか雪の日うとくなりぬるかたちの
彩えうつりて京の人のもてあそぶ風
おのづから系袋たしぬかも風　立陸
淋さのあまりてあるべき系をえてあれば　仝　新松
六　子系の人の仙台の人多し　雨石
六　仙の系乃あるく人多し　吉月
風そよぐ　月法師る田つくり　雪し
冬の色の色の嵐のふえ　冬車
冬　秋やまもなき京の山　仝
六　梅抱て八山後系の立夫ふ　ニノ仝
又四人ものふ　雪の色山松　ニノ汝色
いちうの手ものてもちゐ陸の雪　仝
巨燈ゝ又ものふ　羅車　羅だ
六　猿抱て花ゝ又ものふ　文外
六　春の旅よりくれぬ夢て作ゝ　仝
系巨燈角田又ゝる客くおし出ぬ　弁柱
系ちの又よ秋景てみるそ歌ゝふ　秀志
冬猿の人きハ秋ゝ　位　山　雪翁
武蔵ほつと又ゝ八高ゝを主ゝ政仲　大丈
さけ汐八百ゝ系ちふ色みゝちち　桂社
秋ゝ系を冬の引つる葱ゝふ　ニノ仝
六　焼漬を秋ゝちゝ少むよ風の中　仝
おのゝ秋美を冬　風車

○

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の味　催主

石梨[illegible]　其丈

[illegible]　奥道

[illegible]　芳佛

[illegible]　天樹

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天地人

一番 俳諧 松竹月合

○ 二月 [illegible]

○ 田毎月 [illegible] 京都 五ノ 古溪

○ 二長佐 三ノ 柳雨

○ 切[illegible] 信州 高雨

○ 四長三

句会 宝来

○ 蕉翁の [illegible] 六ノ 古溪

○ [illegible] 信州 三ノ 高雨

○ [illegible] 二ノ 仙歩

○ [illegible] 二ノ 玉水 [illegible] 松芳

[illegible] 千 [illegible] 梅 [illegible] 一 [illegible] 東溪 [illegible] 秋泉 [illegible] 哥里 [illegible] 三ノ 巴陵 [illegible] 盆鯉

[illegible] 月 [illegible] 原賀 [illegible] 百和 [illegible] 梅株朝 [illegible] 朝潮 [illegible] 巴陵 [illegible] 梅志永 [illegible] 自 [illegible] 如庵

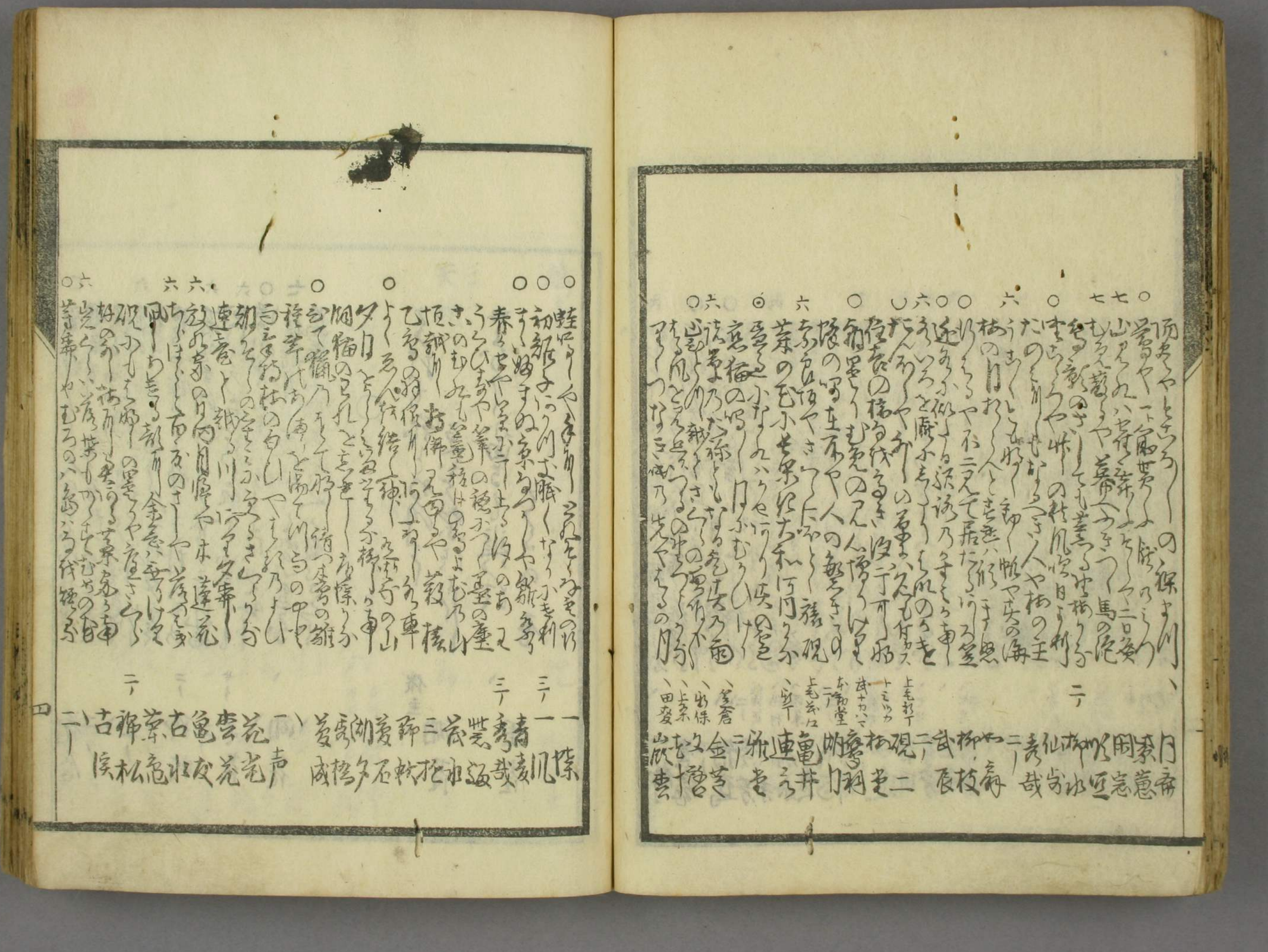
判者 有宜

○温泉をくみにまゐる途の道
○茅の野に柳に松の立ちまじりたる花をみる
○立ちまじりたる人の功者よたるものの
○永二年の頃なるべし
すりうせぬ松ふかくしてあらはるる　土もとのうの花　信濃　永清　松雨

○

六　枕や京山子の縄乃ふる所
面影と呼ぶ場小田乃ら乃ら遠く行まの
切ゆ　小ちゝ　ゆ　ゆ　ゆ

○ 山びこや谷もつたへに百ろ迄　三ノ　蕪子
○ 山雪の花やさくらの色勝のう　武ニ下　光子
七 行く舟の櫂の音とまりけり　大内　拓里
七 行く舟の櫂の音とまりけり　山水
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　雨子
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　蕪子
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　京南
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　京西
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　柳馬
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　秀
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　志
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　
七 ゆく舟の櫂の音とまりけり　



晴晨

鳩来座許月次自合　唐祝　執筆

二十一、　十九、佐　十九、
天歌月　地　妹我　人　花玉

古河　星田
霧沖　星　鵜
三ノ　留　鶏
おさて　梅　鶏
此　栗
ゆ　ゆ
玉　鶏
一　扇
歌　月
玉　鶏

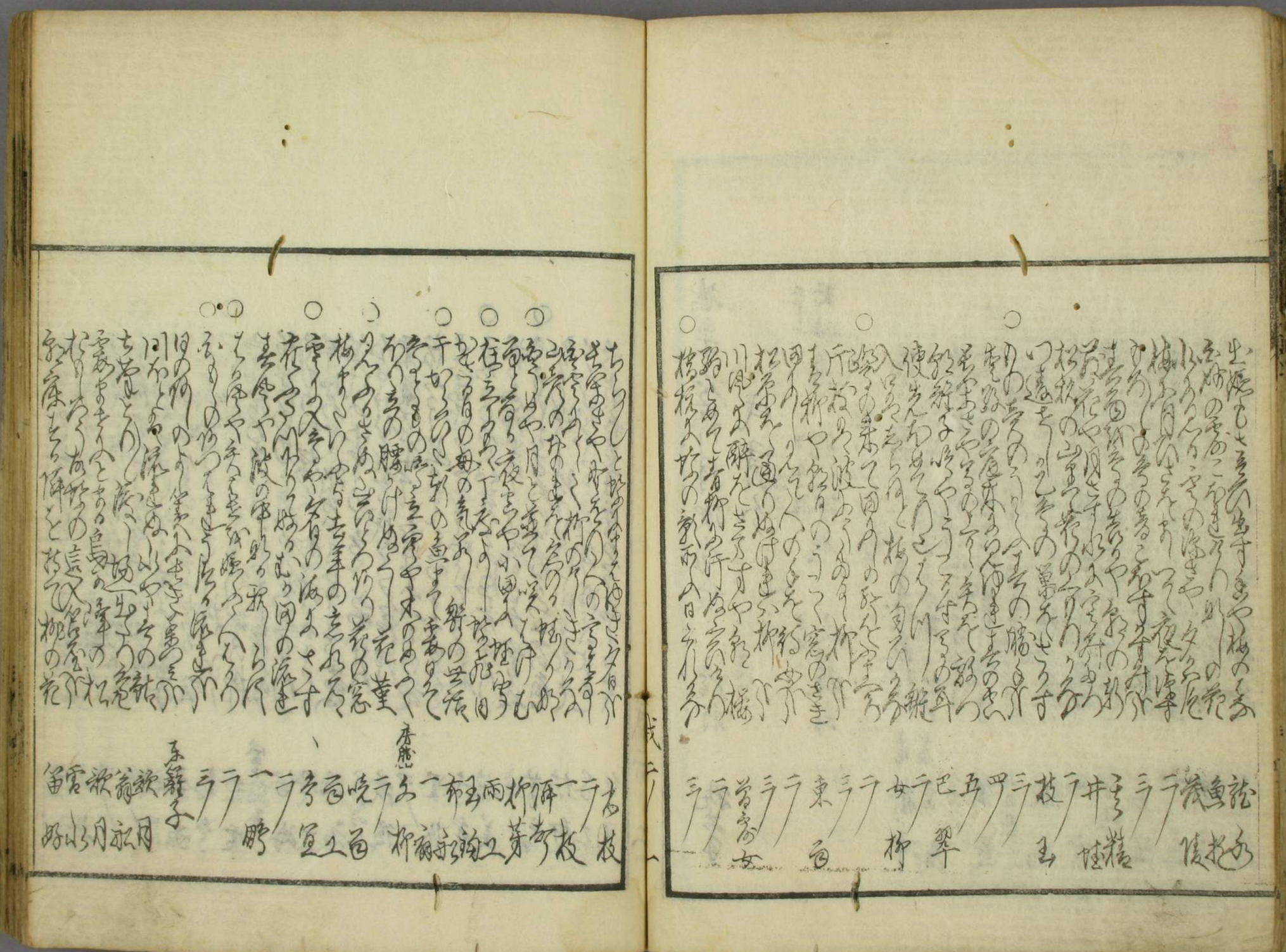
○豆蘇人の賛小稿代
源庵川　寄
六　流の
芳
六　祝
○
七　二挺艪
葛陰

荒唐
二ノ
ハ
三ノ
ハ
三ノ　弥杖
サイ　三ノ　月花
ハ　湖花
ハ

○

俳主　湖花
里花

小田



俳風柳樽合

天地人

六 子より・岩中の・小さく・芽ぐみ・柳・ほこりかに・延らむ　信仙川　一静

外 四点

六 いとけなく・屋下・法・牡丹・柳・ほこりかに・新緑・柳　武辰

外 四点

七 竹・ほそく・書・柳・のたれ　信七郎　葛雨

外 四点一三点一

句意・生来・ものの・姿

書外

七 夕・田・日・今・帆・ふして・舟の・柳　二ノ　上毛・ふかい・二ノ　秀哉

六 風・のこり・布・ふて・ふて・ふて・ふて・ふて・ふて　柳屋

〇 山吹・ふ・この・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ　美雅

七 夏・中・七・と・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ　信寿

七 悦・在・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ　山里

〇 ふ・の・中・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ

〇 七・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ

六 柳　女　晴雪

金　画

一　梅　夕　高

百　高　古

双　里　屋

柳　月

六 印

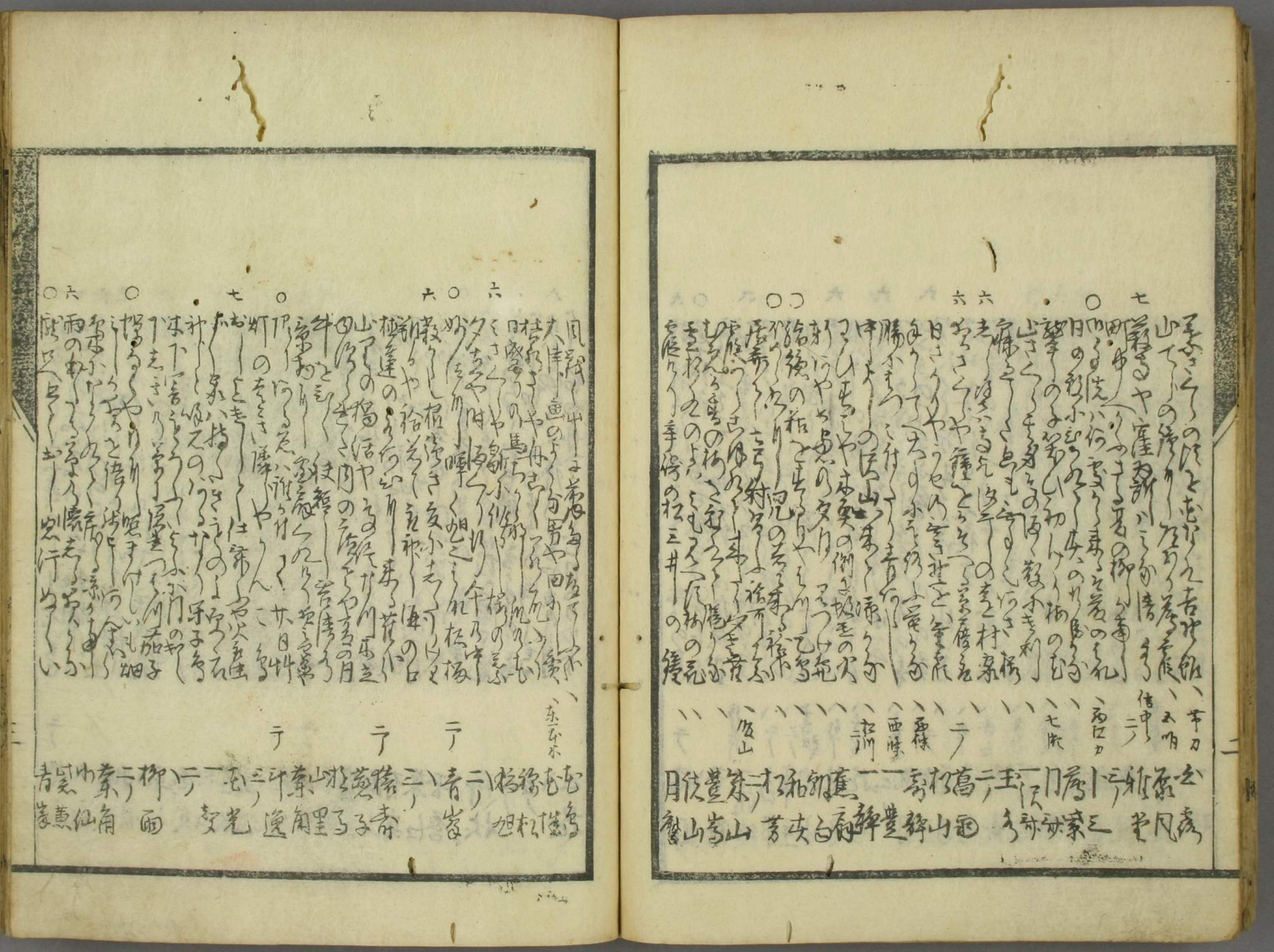
浪・陽・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ　高雪

梅・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ　朝雪

柳・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ・ふ　作　賀　梅

古　十

柳　寿

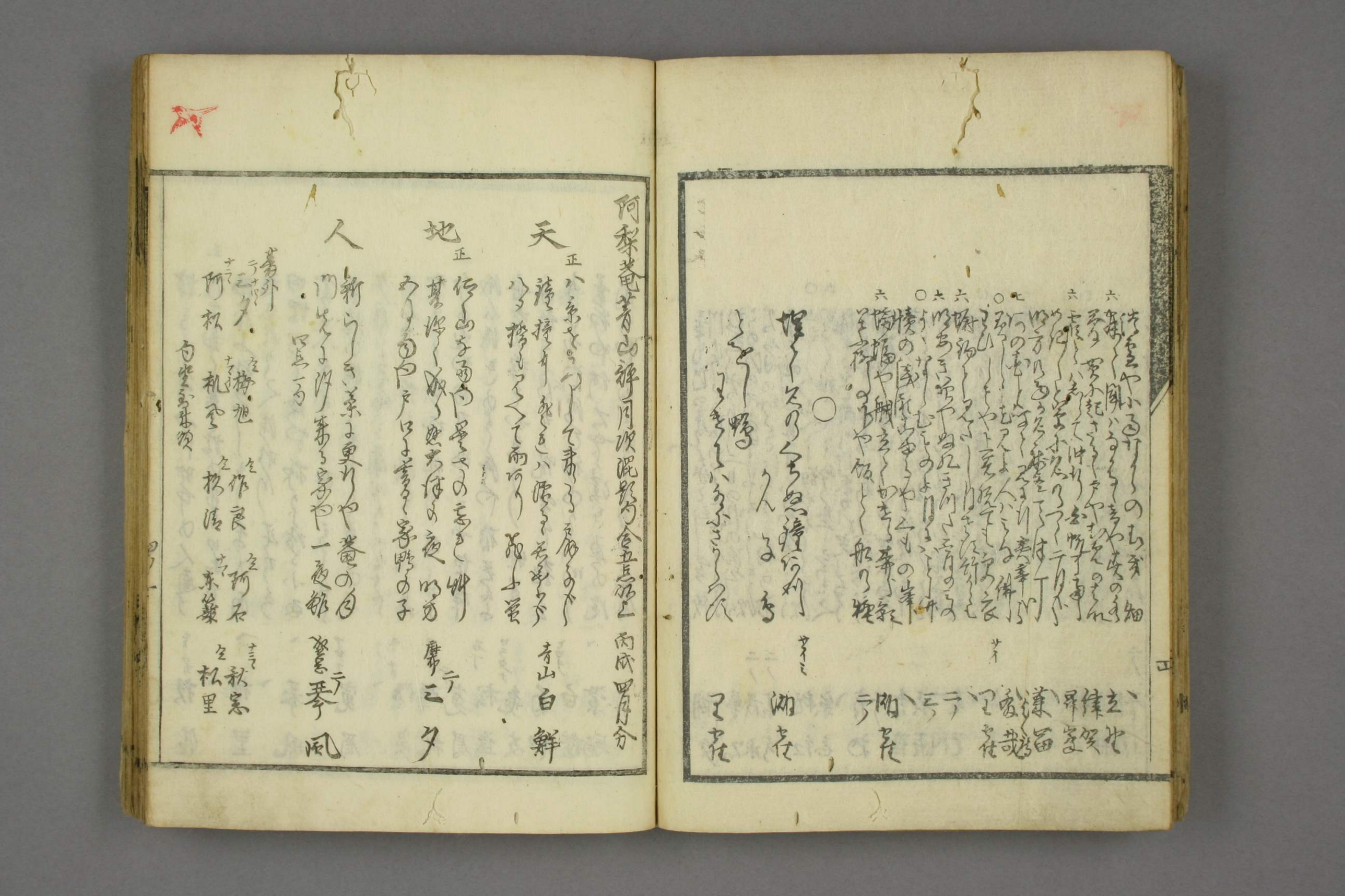


二ノ 杜山 秀 雨 小 乗 松 古 紫 武 呉 古 水 有 青 杉 舟 柳 杜

二ノ 鹿 慶 陽 山 山 水 山 辰 沼 涙 休 舎 葉 真 山 舎 江 葉 月

二ノ 二ノ 二ノ 二ノ 二ノ 二ノ 二ノ 二ノ 二ノ 二ノ 二ノ 二ノ

湖 夕 夢 古 桃 宗 赤 青 青 一 公 鶯 船 月 白 粗 青 舟 公



阿梨菴著山評月次泥影句合五長篇上　丙戌冬分

天　正　八系そのかしらして書るる所なり　寺山白鮮
陸接ぎ　飛ぶ　八雲　花の上
八ツ　接もてくて而ひ

地　正　仙の高き面の雲さの高き　夢二　夕
其接ぎ　飛ぶ　地の夜　明方
みつの面の戸ひよ書る家野の子

人　新らき業より更りや養の白　鶯琴　風
門そよ沙寄る家や一夜郎
口長一百

蕎外　三夕　作良　珂石
阿秋　梅旭　机垂　扶清　秋窓
白空　東籬　松里

正

[illegible]中の人遠 [illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の面、松里、
[illegible]の[illegible]、琴風、
[illegible]の[illegible]、寛眉、
[illegible]の[illegible]、作良、
[illegible]の[illegible]、所松、
[illegible]の[illegible]、寛眉、
[illegible]の[illegible]、松鶴、
[illegible]の[illegible]、菊や、
[illegible]の[illegible]、白樓、
[illegible]、紫蘭、

正

[illegible]の[illegible]の[illegible]、化仏、紫蓮、
[illegible]の[illegible]の[illegible]、松魚、札[illegible]、
[illegible]の[illegible]の[illegible]、[illegible]雨、
[illegible]の[illegible]の[illegible]、作[illegible]、
[illegible]代の[illegible]、雪[illegible]、
[illegible]、赤[illegible]、
[illegible]、茅角、
[illegible]、[illegible]、
[illegible]、白喬、
[illegible]、[illegible]、
[illegible]、[illegible]之、
[illegible]、作[illegible]、
[illegible]、阿石、

天地人

○

○

○

松尾芭蕉翁の辭月次浪歌の合

天

地

人

里夕

六

六

六

六

六

六

六

六

六

太白堂孤月評月次混題句合五番以上

愛未六月分

東都ニ神田居

天　六　壌　六　味　ひとりの月の川あり　孤

地　六　芋　ふてもすみしもの　孤

人　六　笑　ふてもすみしもの　孤

全ニ

六　月　すみの月やすみの考　孤

六　月　芋の考　孤

下七月

眠　山

句坐選素共到来順

六　ゆくとしの月を立ちて　甲フ

六　髪　ゆくとしの月を立ちて　下ナハチ川

六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　西

六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　壱タヤ

六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　東

六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　静

六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　言

六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　桟

六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　言

六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　山

六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　ヲ地

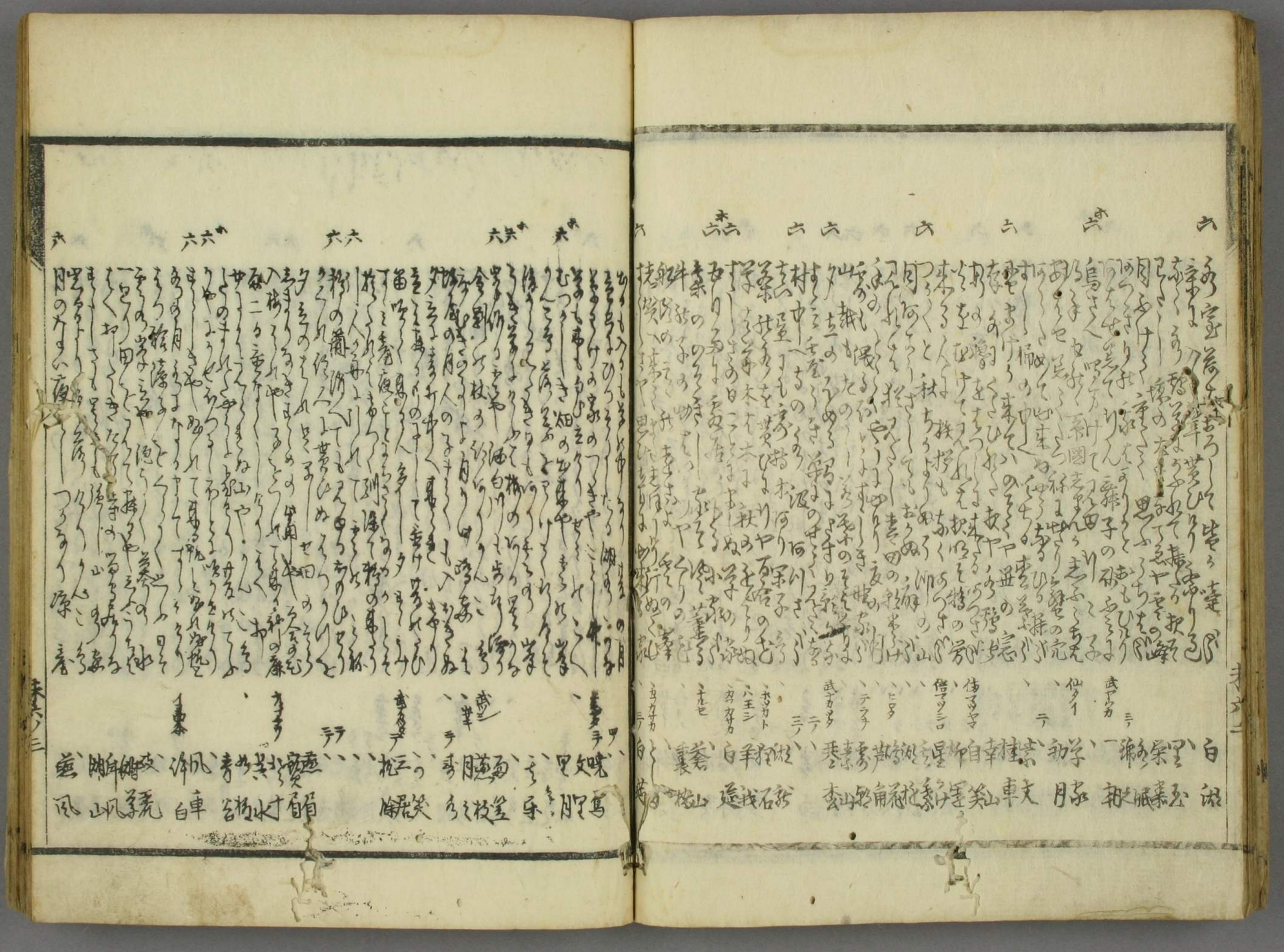
六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　ヲ地

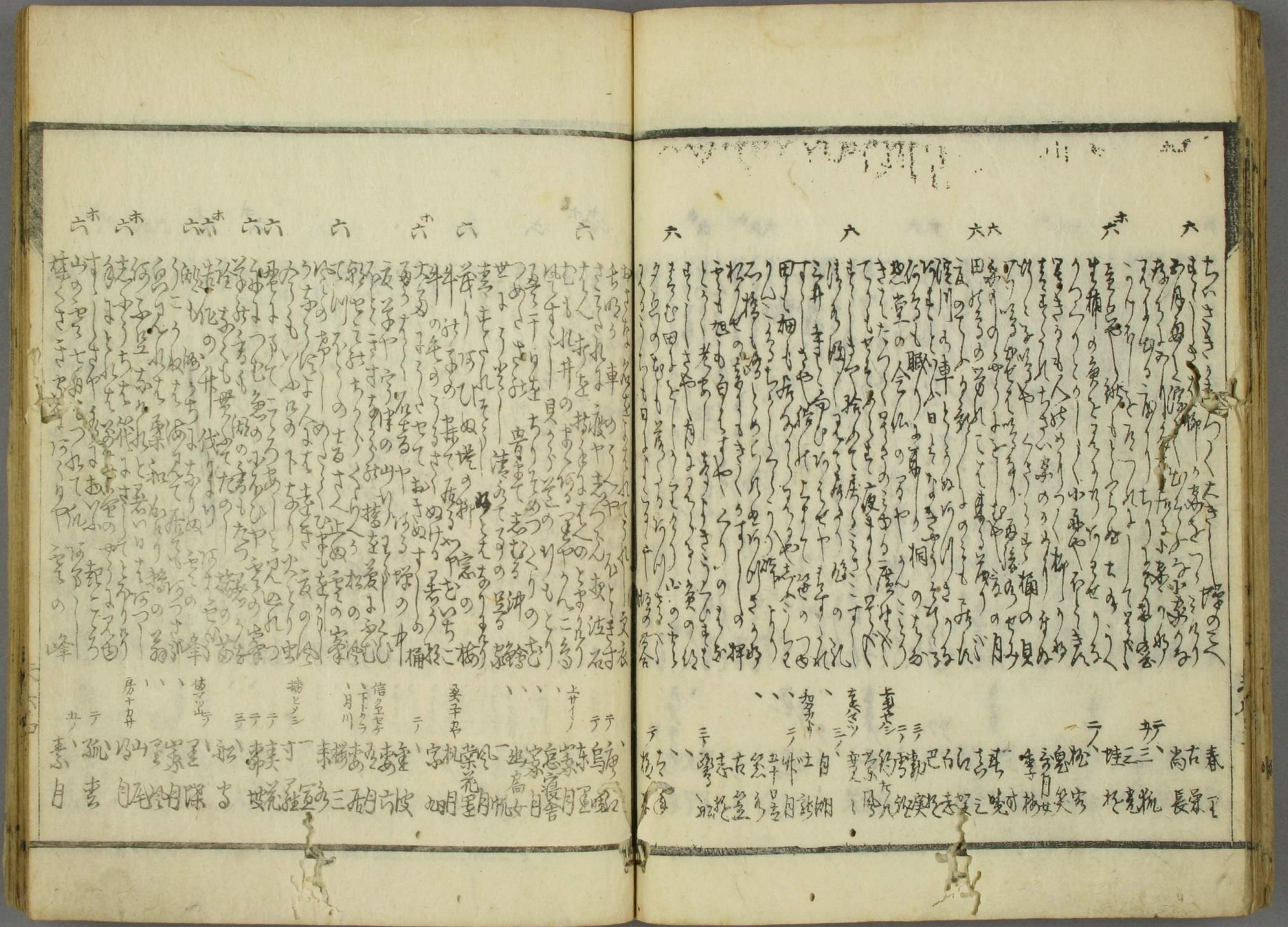
六　月　髪　ゆくとしの月を立ちて　ヲ地

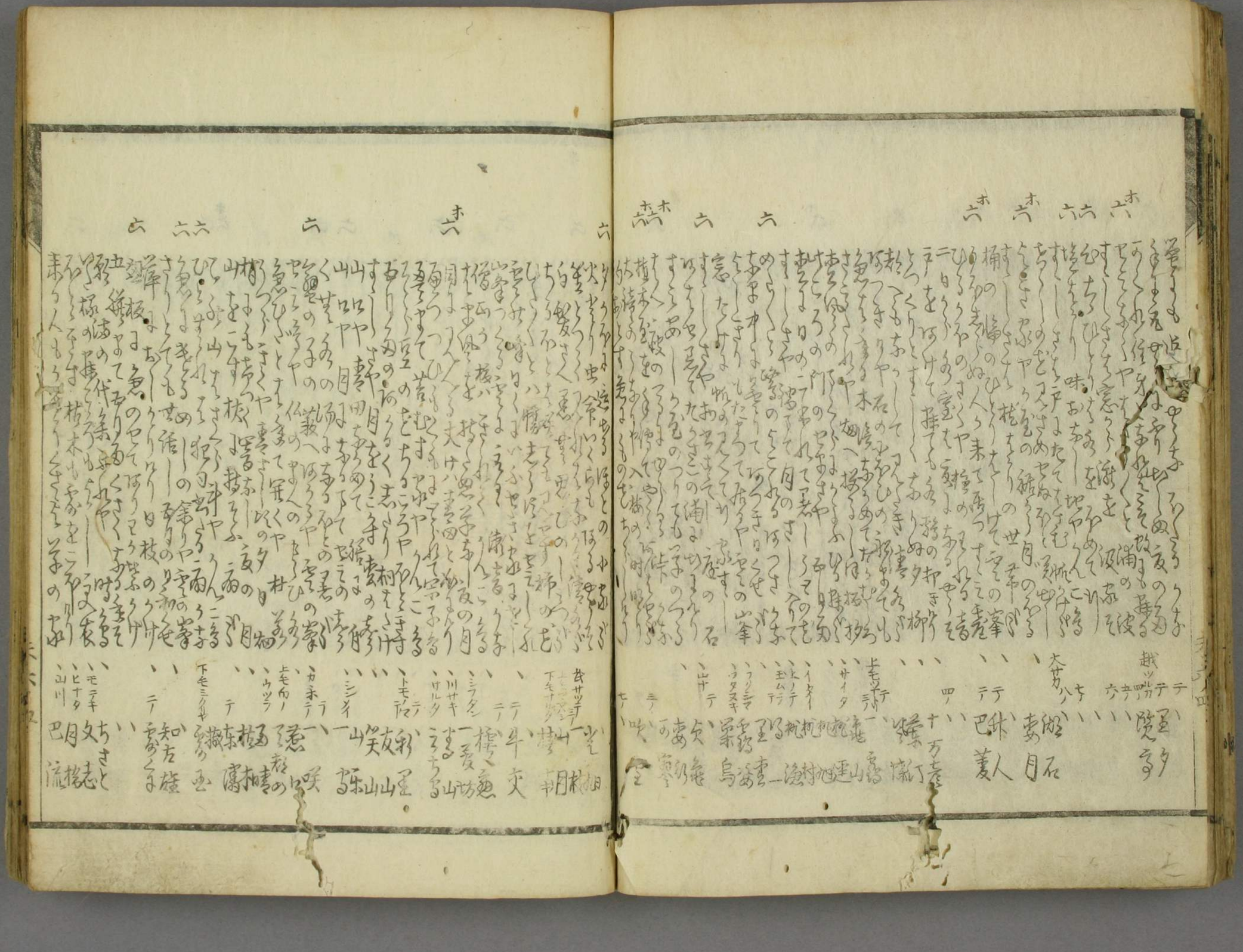
六

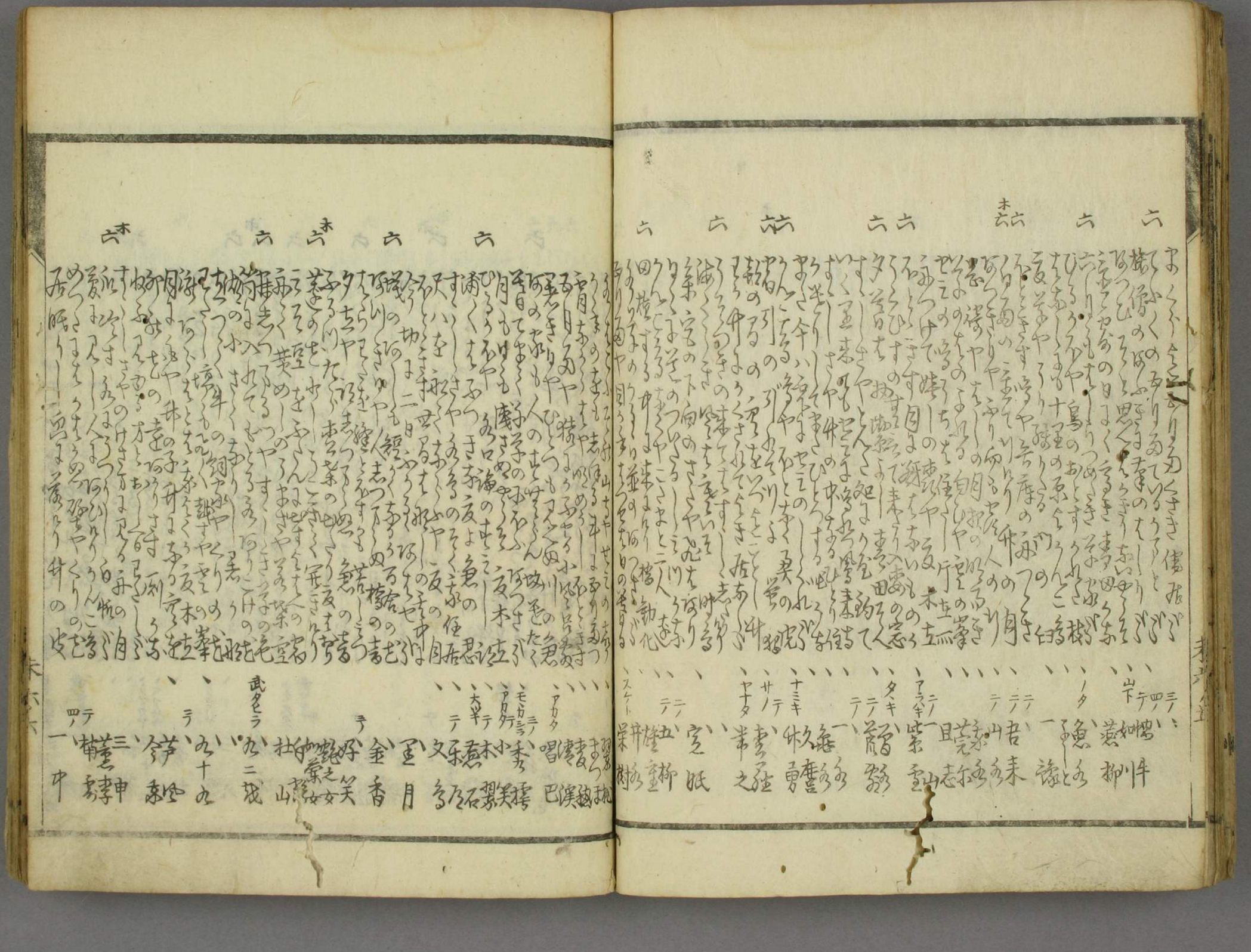
六

六









六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

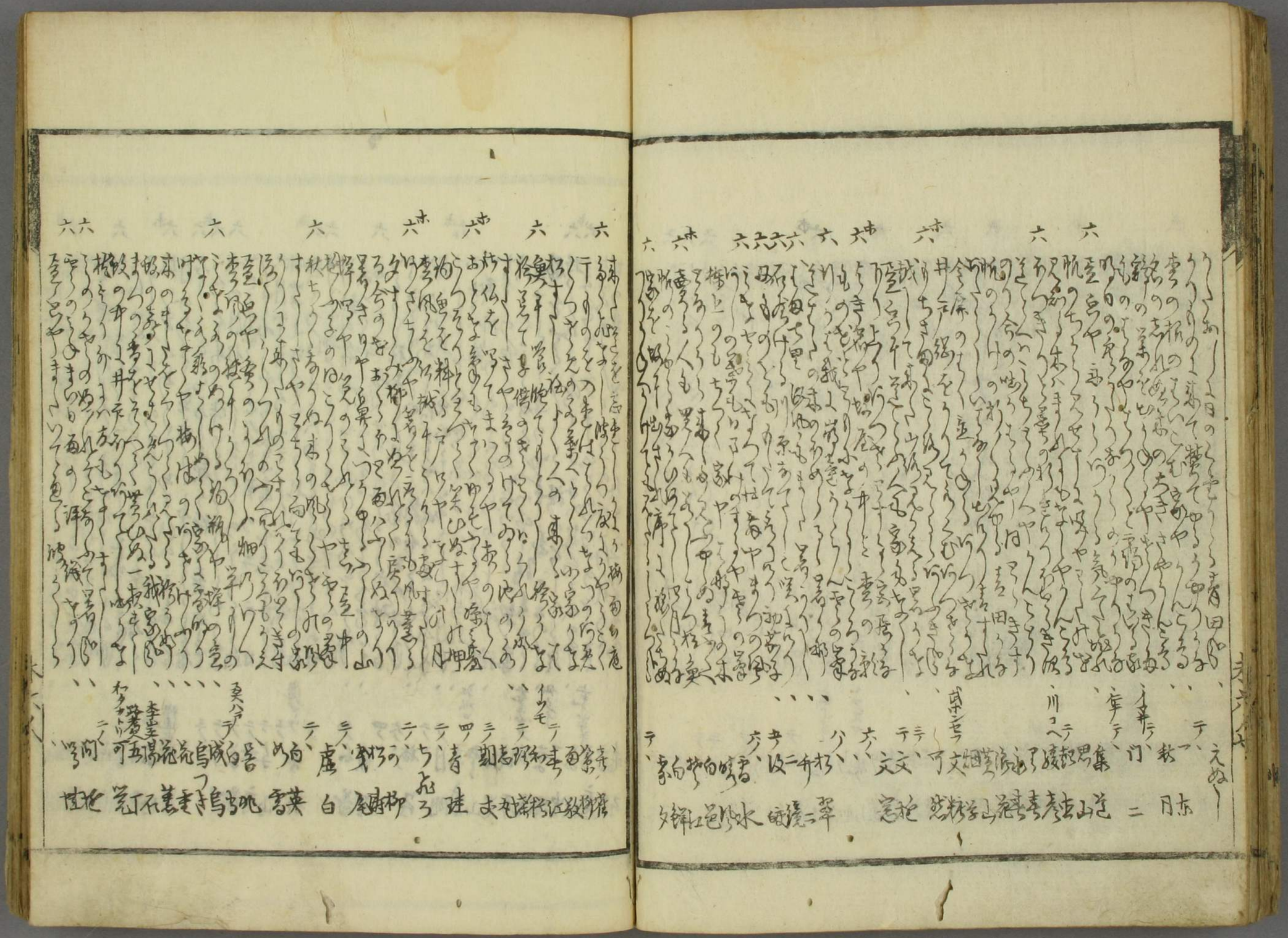
六

六

六

六

六



六月　地獄の釜の地獄を
六月　つれいつれそなる家
六月　蓮の日蓮ありしかとて
六月　はの日蓮ありしかとて
六月　うけの苦ちうちうの
六月　りの中へあるこの
六月　月の山へ重重
六月　みうへ山へ
六月　乎の月行
六月　さもとをちも
六月　さうやてんまう
六月　二月やうろ
六月　世の中のよりてきう
六月　我うつけうとくりあり
六月　すう押
六月　川越の名ちの
六月　夏や
六月　面へ世
六月　花あ
六月　ちきの
六月　ひてあ
六月　ちのの
六月　ちの
六月　ちの
六月　ち

六 田のこれを笑止ちふ
六 頭高の脊を
六 ちの
六 ホ 田の
六 ホ 仙の
六 ホ 敬の
六 敬の日
六 ホ
六 ホ
六 ホ
六 夜は
六 ホ
六 ホ
六 ホ

天　六　夕霧のいさくらの夕もうぬきの事　東都　道と志

栗の外四点位　栗よりも

地　六　秋の夕ハつ秋のクヤ　仝　山陽

外三点位

人　六　夕雲ヤ　仝　志水

白坐遅来共到来頃　未の実

行　六　秋ルすひ保

あすも美ヤ日ヨ宮ひ川　紀川

山の尾ヨ久　秋の日さ　二ク

宰ラも　栗の宿　不孤枝

栗の宿と　月ヨカ　桃　雪

栗の月　月ヨカ　桃　寿　丘

くさの牛　月ヨカ　桃　社

ふの宿　月ヨカ　桃　社

栗　月ヨカ　桃　社

の明ヘつて　月ヨカ　桃　社

家ヘひつて　月ヨカ　桃　社

接人ヨ件　月ヨカ　桃　社

今の宿　月ヨカ　桃　社

新ヨ花　月ヨカ　桃　社

美ヨ花　月ヨカ　桃　社

の戸ヤ　月ヨカ　桃　社

川ヨ　月ヨカ　桃　社

川の師ヨ　月ヨカ　桃　社

川の師ヨ　月ヨカ　桃　社

川の師

六月

六月

六月

六　ささ　六　六　六

秋の天牛の美しと
秋きりや
秋ぐはの高
秋のたくるのさた
秋のたくるのさた
秋芋
秋を惜
秋の月
秋の月
秋の月

一つゝ　一ツノ　直　直ち　直ち　直ち

六　六　六　六　六

秋や升　相とり

丘　郭　自　秋山　極　原　釜　山　南　田　杉　多　伯　雪　杉　居　為　成　打　ま　二　平　嶺　山　家　王　上　毛　むら　止　栗　栗

弐十七セ　オシタ　弐セタカヤ　弐ヤ口　十カ又　上毛むら

判者　孤月

同笑セハ行ってから秋の故郷　催主　文石

油

ゆの素　柚味噌の蓋のうえ

鳩来庵許月次句会　庚寅　執筆

十九、　戊申月次　十八、

天井　蛙　　地漫楽　　五吟　人蘆岸

五題　之部

人形つくるよりの鹿　中ゆき　対面　蘭雲　大日　中ゆき　吳雲

○豆ぶ　帝　秋　井蛙　東蘭子　蘭雲　茅岸　蘭之　青牛　桂進　寿山　素翁子　呼花女

歌槻美月　金窓玉戸　一雪雪千桃留和　此花嘉　一雪　欲立　月輝雅　南　海月　一留　一雪　星　川

柳之　支　桂星　海乗星　松賀　月　雪　苔　鶴

寒

麻布総持寺御川宮奉祭月次　五月分

阿部菴詠

天　地　白舟　人

外　松二　十五夜信

阿石　花蘭　新幸　阿松　白鶴

夢迎ふる郭

山菅の咲くや港し宋古寺　蓬園

何ぞ見る白雨の降り来る　廣中

鮮やかの巣の蔦ちり　阿石

野分よりの掃ひ菊　定眉

詠秋菴詠　松二

湖月

天 十五位 坂州 地 十五位 静止 人 十五位 坂泡

秀逸 飛

所石 静止

古今へ二タ夜泊り ぬ ひつぬ 俳諧 桃之

痩もせず 捨る 咲し 咲ども 乐別去 芋別

身は泊して 蘆苅 別者 菁山

天 十九位 山月 地 十四位 自来 人 十六位 菁月

十五ノ部

天 十六位 几石 地 十六位 岳雲 人 十七位 吐雷

十六ノ部

晋風 晋宇 山月 乐石 自来 晋風 桃の実 風雅 桃の実 武川三 桃の実

晋風庵是駒判

機泊庵有宣判

天 十六位 星月 地 十七位 浮花 人 十七位 芝治

十七ノ部

桃之 清水 星月

杜若春山別

天十八　五風　地十七位　杜風　人全　清水

[illegible]

杜春　五風

水谷蘭橋別

天十五位　銀魚　地全　云為　人全　春の

[illegible]

橘義　晋字　風雅子　墨水の魚

晋字

春の　四十七字　時雨　三十四字

玉川の水や九月

[illegible]

サイ主　晋字

別去　有仁　景山　橘義　硯魚

阿梨黄菊山神自次句合

天

[illegible]

白雪

地

[illegible]

大ツカ　茶華

人

[illegible]

ミフヤ　花栗

外ヶ浜　石鼎　古十　宛屑　梅史　珊石　白邑　遠子　雪蕉　宛屑

[illegible]

西撫子　真秀　湖月

日本八ヒ　モリオカ　三屋　徳良

正　正　正　正

[illegible]

モリヲカ　三角　寛眉　二ヲ

宗英　三ヲ　宗英　四ヲ

アサフ　所松

斗辺　古十

アヲ山　白能　二ヲ

アキ　ヒロウ　東麿　東麿子　二ヲ

モリヲカ　ヒロウ　松清　二ヲ　白桃

正　正　正　正

[illegible]

モリヲカ　彩雲

遠子　小桜山　宗山　二ヲ

市ニシホリ　宗山　沼国

大ヲカ

市ニシホリ　一懐　桜

アヲ山　滝松　十六ヲ

水ノハシ　宗松　二ヲ

モリヲカ　梅史　柳義

上ヤイノ　ミフヤ　甚山　二ヲ

アヲ山　栗月　栗谷

モリヲカ　白邑　二ヲ

冬景　二ヲ

正　正　正

[illegible]

[illegible]

[illegible]

千賀　支里　松　蘭　徒　寛　木　雅　説　雅　説　柳　失　仰　雪　好　百　芳　待　丸　一　雪　羊
羊　多　麻　川　島　吉　下　之　女　東　百　説　雅　説　柳　失　仰　雪　好　百　芳　待　丸　一　雪　羊

春　丸

寒　丸

一流 風松流 月谷合

天 地 人

○深川 さとまち 切西豆腐屋 東部 連八

七月廿五日 上すま 吉田式 伝那保 文智

外 四長一

外 四長三位

地法 角力 奇人 ふたり 附多

六 朝の餅やつ 名 吉原 哭幕

外 四長一位 仙岩

旬堂庵 本吹

蓬莱の磯小袖引き除 紙

雛富乃 考 切 切 乃八

○ 黒白 ふたり 小稚本屋浦 分

七 ミ ふたの 係 藤竜庵 武五郎 寿庵

六 枯て とろ 川 田植 奇 伝馬川 古泉

七月のうつりやすさ入江や袖屋風
ひ　夏の初花山ほとゝぎす
六　及ぶ夏毎の茅屋や雲の峯
日斗
左　さくらたふ花のうつくしさ
面の板の武かう柳家の丸りと
六　ゆかしさ入江ふ家屋の星もうつる
六　星りや舞一時の蝶
白ぎく入うち
六　夕りわに織御ケ嶽ゆ

○

七月廿三日　御供して合歓の花
○　朝涼や長門　歌仙　悼　西
日の長やカ入　時
うきゆ　ゆ　ゆ　

○ 朝ぼらけ　二ノ
○ 月の雲　二ノ
○ 二條院　二ノ
○ 今宵の月　二ノ
○ 杜鵑　二ノ
○ 松の緑　二ノ
○ 夏の月　二ノ
○ 夏の月　二ノ
○ 夏の月

テ 橋 テ 一 テ 稲 テ 夏 テ 外 テ 閉 テ 山 テ 松 テ 宗 テ 日 テ
二ノ 風 二ノ 川 二ノ 葉 二ノ 秋 二ノ 石 二ノ 歩 二ノ 夕 二ノ 斗 二ノ 迄 二ノ 門 二ノ 江 二ノ 海 二ノ 東

○ 柿ぬや紅石榴の石垣 川
入柿や夏とも知らぬ梅の蕾
葉ゝ陳ゝ旭や苦の寺
六 いりまりや奈の灯疲て居る
雪庵の月の冴し疲て居る
六 千やそもら 亀
夕立ハ西ゝ 風
川風かぶる 佛
○ その峯ゝ人の ハ
優て禁ゝ 人
ちらゝかや実の図 ハ
六 ゝゝ書ゝゝ ゝ
○ 夕ゝちや松とん ゝ 寺の坊
○ 地ゝや而ゝそ ゝ 龍

○ 蔡 胡月 蔡 風 蔡 花 唐 云 郷 松 ハ 拾 遺 ハ 人 湖 花 中 花

きゝの命ゝ水の月
おゝゝゝゝゝ月ふ打也風源

雪庵評 夏句合 作 雪雅女

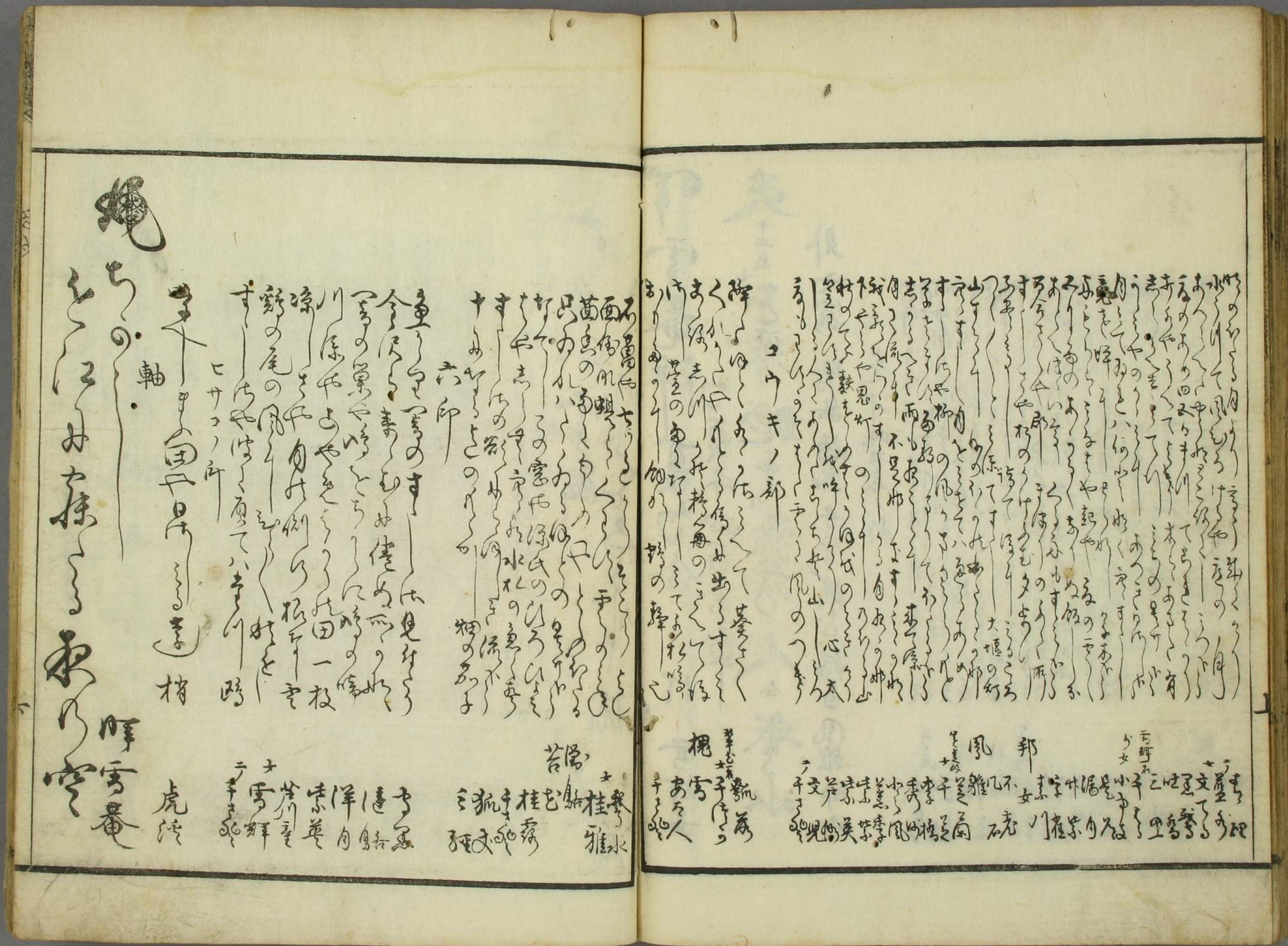
句頁千四百余章

天 十五点 女 ど乗ゝ 地 十四点 住 蘭芳 人 仝 載ゝ水

外七字 蘭芳 傳蘭 千李 漏女 鶴雪 風雅 竹山

書中九五点ノ影

月すゝ ゝ本ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ て
叶山 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ て
すゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
ゝて ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
月す ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
す ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
ゝ



吉瓢庵撰

天（十五点）玉屋 地（公）手毛 人（公）肇花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

良風苑白應評

天 十五 仲秋 地 十一 賓里 人 仝 柳堂

六京

[illegible]

采音楼田々評

天 十五 三夕 地 十三 仙南 人 仝 仲秋

[illegible]

松荘雪翠評

天 十四 白麻 地 仝 森星 人 仝 樽宇 番外 五客 客

六京

[illegible]

八京

[illegible]

掃先へと油こ[illegible]
こと[illegible]
浦の樹よ[illegible]

○

音乗や古[illegible]秋を[illegible]
一つのまく[illegible]
なりけ[illegible]

○

小[illegible]

[illegible]
[illegible]

僧主　素英
阿雲
宗[illegible]

白應
雪翠
田[illegible]

阿素菴　茅山

梅室　素心

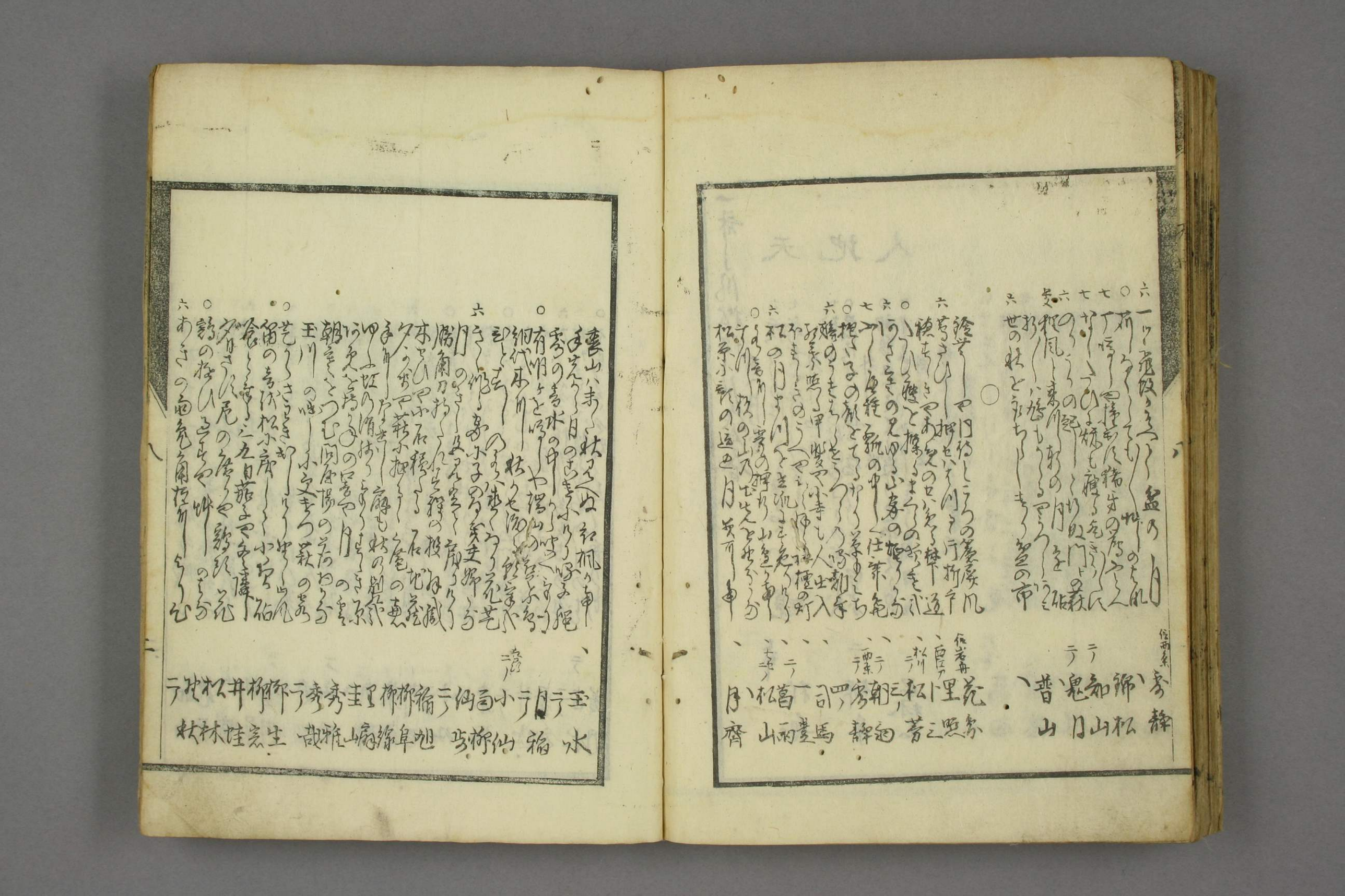
十番　月松作　[illegible]月分　[illegible]合

天　柏舟
地　柳阜
人　星林

句[illegible]

[illegible]

[illegible]



○浅茅生の一筋ふる昨の秋の風
○ふる橋の中〳〵絶て寒行水子
北ゐ〻ふ橋のうち〳〵
六 ゆくすえ遠川宮〻小田の了
もゆ〻定無常軒を寄
七 芝山ふる〻〻〻

六　二さん寺の朝夕鐘つく秋の月　赤流
六　夕ぐれの初帆柱の秋の山　吹堂
夕ぐれの雲さへなびく秋の山　古秀
月ゆゑ秋の夜明おそく秋の暮　石秀
こゝ秋の月の出の遅き秋の障　柳美
きぬ秋の舟の出の遅き秋の障　枝
○　ちさ小舟つゝ出る秋の夕　晴
つゝぬのうゑ一ぱい秋のうゑ　武
六　夕ぐれや島ハなれの峰の秋　辰
水見に見し日のうゑ秋の風　柝枝
接信のうしろ秋の風　精
きく戎の宮の秋の舟　寿
さゝ波の宮の秋の花菖　乙
三橋山の松かゝれつゝ秋のうゑ　
ちゝ四絃の秋の夕　
○　ちゝ小舟の出て仕舞ふ朝の月　春里
六　ちさ舟や出船の後の秋の月　百里
秋の月ゆゑ舟もゆゑの門ゆゑ秋の夕

○　陀羅尼の声の主　嶽
風呂焚く日ぐれの雨の青　機
○　笠傳ふ雨の音　
秋の雨ゆゑ雨の音　
○　ゆゑ雨の音　
六　朝雨や一ト雨降りけり秋の晴　
雨ゆゑ雨の音　
○　ゆゑ雨の音　
ゆゑ雨の音　
六　猿の声　山鳥
ゆゑ雨の音　
六　猿の声　
ゆゑ雨の音　
六　猿の声　
ゆゑ雨の音　
六　猿の声　

[illegible]

湖雀　里雀

同巻第四業歌

天　雀拉　比　男　人　牛牧

[illegible]

海[illegible]の月　山[illegible]

[illegible]

[illegible]

正

正

正

外十句会
白雄 梅池 笙竜 河曉 雷弁 寵月 三夕 冬甫 一芳 作良

歸露軒題駒子評

天 市良 雨情 地 士良 雷雄 人 士良 三夕

[illegible]

月花の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月花の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

篁月菴評天　杜　立　地　蟻　丈　人　五葉

[illegible]

[illegible]

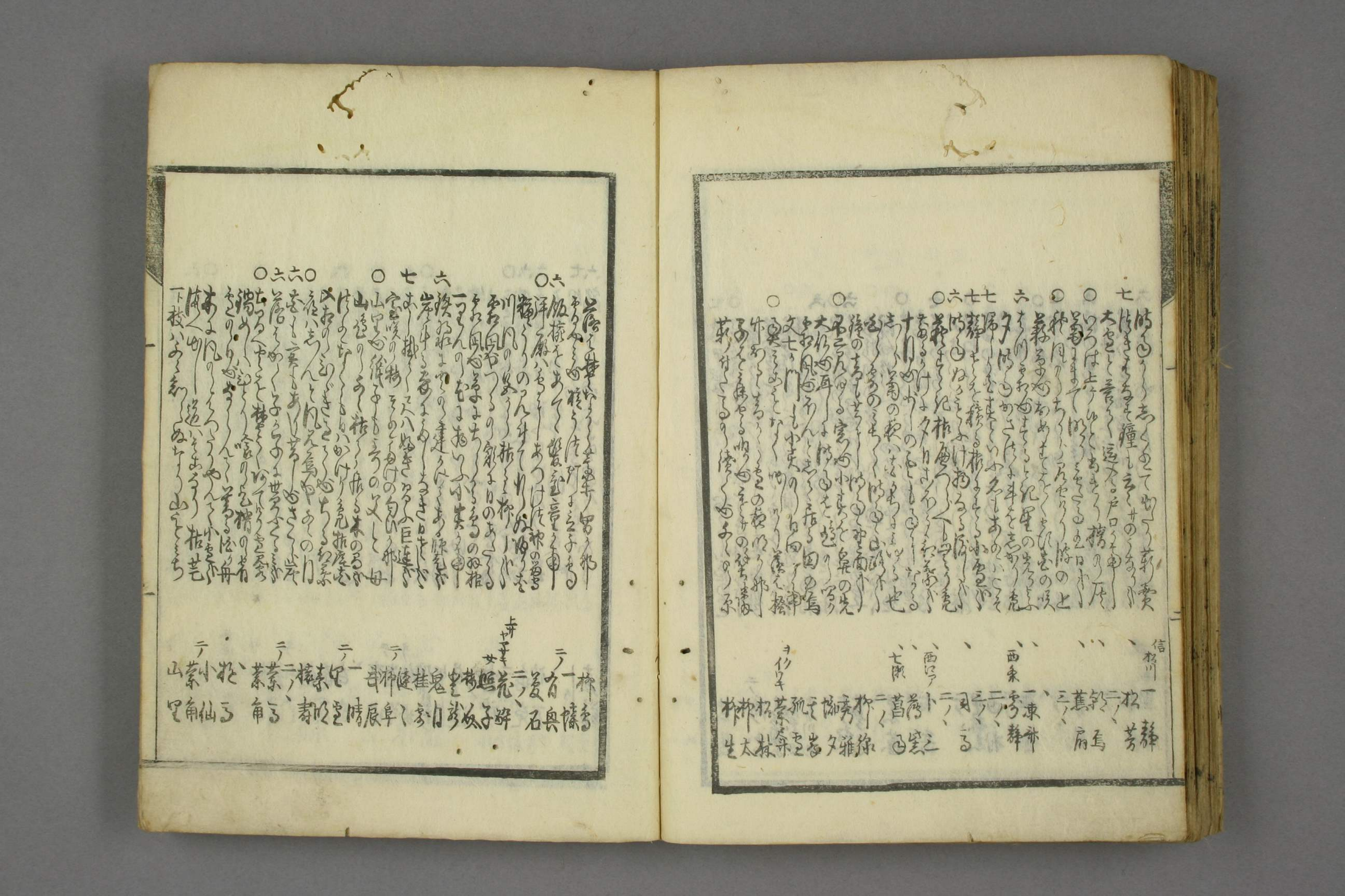
[illegible]

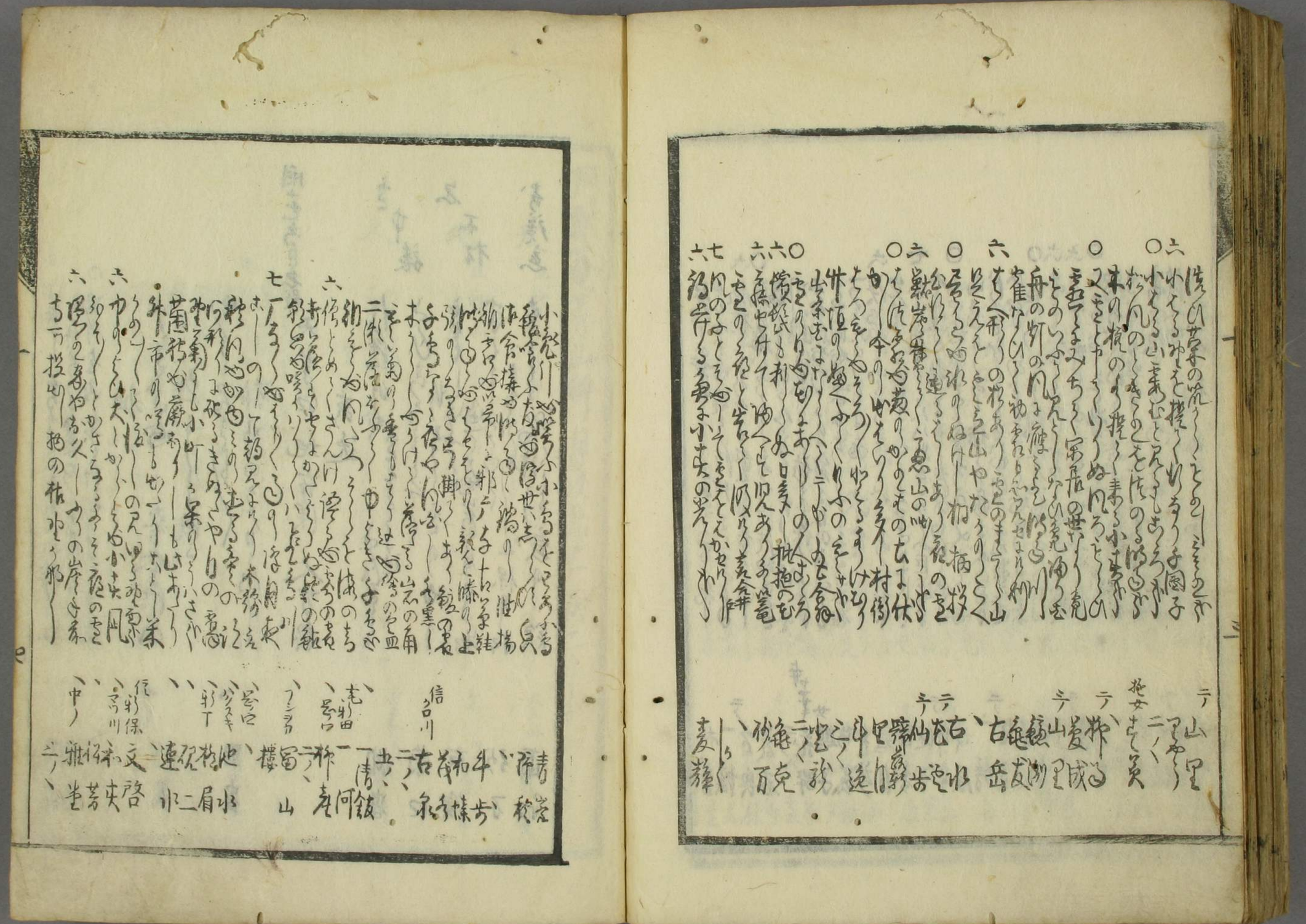
白玉逢未とも公未以

二ハ 稲旭
金乐赤
古渓
蒙る
花色

野秋
杵月
芦魚
寂ぬ光
香色
百合哉
二テ 稲仙
尚姫
桃石
荒曼女

芸枝
二ノ 弥多
多多羅女
多川め
芸蕙
古岳
二ノ 早林志
村
二ノ 松舟
二ノ 素流
二ノ 和多
信岩舟
里照





○ 海

鷲 サイ 湖崔

眠る

里崔

里崔

湖崔

蘭江

古濱

砂丁

南江

用之部 天 茶江 地 古濱 人 有無

猿

不杭

三保の松

欲

阿蘇菴青山評 自次第上 成二月

天 正 月 大久保 崔賀

地 正 蝿 崔南

人 和叶

三鬼

柳面

龍自

石丁

兎山

吳山

里

宋

里

兎

科部

柳濃　寛眉　人丸　朝雨

東籬子

菊　東籬　梅史　桃之　橘月　竹門

天　梅旭　地　寛眉　人　朝雨

東籬子

晴晨

阿梨菴著山新月次句合

天　正　　秀ノ二月分

地　　人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

正

正

正

帆車の油照り　夏の夕　桃之　竹石
小原もしほ　魚の陸　夏の郭
夏迄　梅旭　百樹　丸
柳の　柳の　柳の　柳の
小田の　小田の　小田の
外十吳山雪むし　田の家　二の家　新穂
阿松　三ツ　坂新　之　砂利　和吋　雲晴　高雲　梅旭
天　地　人
夏蕨
天　地　人
柳清　七
梅の　梅の　梅の
砂利　砂利　砂利
柳の　柳の　柳の
夏水　夏水　夏水
紙鳶　紙鳶　紙鳶
夏　夏　夏
小松山　小松山　小松山
東籬　東籬　東籬
菁山　菁山　菁山

天　地　人
花蘇　地　白喬　人
ホヽヴヒ　六　卯　郭
秋の山
秋の月
秋の雨
秋の月
秋の月
秋の月

哥書屋源

天高位 倩駱地 ナラて位 鬱駱人 高位 里自

コウキノ郡

京一さハ之ケ谷ノ自天ノ

千里子
子塚
ぬ流
徐来
三
雄
テ
玄石
三方
鬱駱子

源自
総
戸
女
州月
三玄

鴨乃老くさ

軸